

## 面会交流の実態に関する社会調査（プレ調査）報告書

高田恭子\*・藤間公太\*\*・面会交流実態調査研究会\*\*\*

知的財産学部 知的財産学科  
(2021年7月29日受理)

Social Survey (Preliminary Survey) Report on Child Contact in Japan  
by  
Kyoko TAKADA, Kota TOMA, Research Group on Child Contact Social Survey  
Department of Intellectual Property

### Abstract

With divorce rates remaining high, much ongoing discussion has been dedicated to determining what an appropriate legal system for dealing with parent-child relationships should entail. However, no surveys have examined the realities and actual situations faced by post-divorce families in Japan. In order to fill this knowledge gap, we organized a research group for conducting a child contact survey; it was headed by Kyoko Takada and included legal researchers, legal practitioners, family sociologists, and psychologists. Our research group plans to conduct a nationwide social survey that could help us examine avenues and issues for building a more appropriate legal system for dealing with child contact and familial situations in the future. This report is based on the summary and the simple tabulated results of a preliminary web survey, which we conducted as a preparatory exercise for our national survey in October 2020.

キーワード；面会交流、社会調査、家族法、子どもの権利、離婚

**Keyword** ; Child Contact, Social Survey, Family Law, Children's Rights, Divorce

---

\* 大阪工業大学 知的財産学部 准教授

\*\* 国立社会保障・人口問題研究所 社会保障応用分析研究部 第2室長

\*\*\* 面会交流の実態から親子法のあり方を検討することを目的とした研究会で、法学者、法実務家、社会学者、臨床心理学者など学際的メンバーによる研究会である（代表：高田恭子）。

## 1. はじめに

高田恭子

現在、離婚後の親子法に関する制度整備に向けた議論がなされている<sup>1</sup>。しかしながら、日本における家族の実態を把握できていないために、当事者のニーズや直面する課題についての理解が不十分となり、適切な検討ができていないのではないだろうか。そこで、面会交流実態調査研究会（以下、本研究会）では、離婚を含むさまざまな事情で一方あるいは両方の親と別居して生活する子どもを巡り、親子に関する法制度がどのようにあるべきかを検討することを目的として、全国規模における社会調査の実施を企画している。この「面会交流の実態に関する社会調査（プレ調査）報告書」（以下、本報告書）は、本研究会が全国規模に行う社会調査のプレ調査として実施したWeb調査の報告書である。

面会交流は、離婚時の親権者の設定とともに紛争性が高く、情緒的側面を取り扱うために、その実効性の確保も含めて困難が伴っている。面会交流を取り決める当事者は父母であるが、子どもにとって、面会交流は、成長や生活の側面から直接関係する事項であり、子どもはまさにその当事者である。そのため、制度整備のあり方は、父母間の取り決めという紛争解決の側面のみならず、子の権利や子の福祉実現の観点からも検証されるべきものである。あわせて、事実婚を含む婚姻関係が終了しても子どもを巡って継続する、父母としての関係性のあり方や、親の子どもの養育に関わる幸せや責任についても考慮して検討されなければならない。とりわけて、その取り決めや法的決定のあり方は、長期にわたって継続する家族関係に影響を与えるため、その制度設計は、当事者のニーズや課題の解決にあわせて検討されるべきものであろう。以上のことから、離婚時の家族にのみ焦点をあてるのではなく、その後どのように家族形成がなされたのか実態を把握し、そこから必要とされる法的支援や当事者の取り決め、法的決定のあり方を検証することが求められる。

そこで、本研究会では、親と別居して5年以上経

過している同居親、別居親、そして子どもを対象に、時の経過に伴う変化を含めて、どのような交流関係があり、また、交流の有無や状況を、当事者がどう評価し、受け止めているのかを分析することを目的として全国規模の社会調査を準備している。全国調査における質問項目と検証すべき課題を精査するために、同居親と子どもを対象としたプレ調査としてWeb調査（以下、本調査）を実施した。本調査では、主にひとり親家族を支援する団体の協力の下、調査協力の周知を行った。そのため、ひとり親支援団体に繋がっている同居親が主な対象となっている。また、子ども期に親の離婚等で親と別居する経験をした者（子ども経験者）については、大学で授業を行う教員に、講義等に学生に向けて周知をお願いしたために、大学生が主な対象者となっている。そのようなことから、本調査は、代表性のあるデータではない。しかしながら、支援を必要とする家族、子ども期の記憶が鮮明な大学生が主な対象となっているであろう本調査の結果には、サンプルの特殊性から大きな意義があると考えられるため、データの単純集計としてほぼ全てを本報告書に収録することとした。また、自由記述に現れる回答者ひとりひとりの思いも重要な資料になると考え、誤字脱字の修正に止めて、原文のまま掲載することとした。

本報告書は、調査の概要（藤間公太）、調査結果に対するコメント（高田恭子）、単純集計結果（面会交流実態調査研究会）で構成されている。

## 2. 調査の概要

藤間公太

本調査は、親の離を経験した子どもと別居親との面会交流の実態を把握し、離婚後の親子関係に対し、どのように法や社会制度が支援を行えばよいかを検討することを目的として実施された<sup>2</sup>。概要は以下の通りである。

本調査の対象となったのは、(1) 離婚後に子どもとの同居している親（離婚後5年以上経過しており、かつ離婚時に子どもが15歳以下であった者）と、(2) 親の離婚を経験した子ども（親の離婚後5年以上経過しており、現在年齢16歳以上、かつ、離婚時に

<sup>1</sup> 公益社団法人商事法務研究会「家族法研究会」における課題の分析を経て、「父母の離婚に伴う子の養育の在り方」の検討事項として、2021年3月より法務省法制審議会家族法部会において議論されている。

<sup>2</sup> 本調査の実施については、国立社会保障・人口問題研究所の研究倫理審査委員会より事前に承認を得た（承認番号：IPSS-IBRA#20003）。

15歳以下であった者）である。大学、ひとり親家庭支援当事者団体のメールマガジン等を通じて、調査についてのチラシを配布し、協力者を募る形で対象者にはアクセスした。

調査は令和2年10月1日から同30日の期間で、Web調査の形式にて実施された。対象者には、上述したチラシに記載したQRコードからWeb調査ページにアクセスしてもらった。倫理的配慮の一環として、Web調査のトップページにおいて、調査趣旨に加え、自身にとって負担になる場合には回答する必要がないこと、回答の中止および提出したアンケートの取り下げも自由であることについて説明を行った。そしてチェックボックスで、この説明を理解した上で本Web調査に回答することの同意を得た上で、同意した者のみを対象に、次ページからWeb調査を開始した。raw dataの収集蓄積、csv形式での入力等は株式会社マクロミルに委託して実施された。

調査においては、親向けのWeb調査ページと子ども向けのWeb調査ページを用意し、それぞれにおいて以下のような内容を尋ねた。同居親、別居親、子どもそれぞれのフェイス項目（性別、生年月日、年齢、最終学歴）、仕事の状況、個人年収（額面）、別居親の居住地への最も便利な移動方法、およびその方法でかかる移動時間、親が結婚した年、親が離婚した年、親の離婚理由、親の再婚の有無、離婚の方式、離婚時に養育費支払いの約束をしたか、別居親からの養育費の支払いの状況、離婚時の面会交流の約束の有無、実際の面会交流の有無、方法、頻度、面会交流に際してサポートを受けた経験の有無、などである。

結果として、離婚を経験した同居親から589（男性=20、女性569）、親の離婚を経験した子どもから56（男性=16、女性=40）の回答を得た。親、子どもともに400ずつのサンプル数を確保することを目指していたが、子どもについては大幅に下回る結果となった。これは、支援団体にアクセスしている子どもが想定より少なかったことに起因していると考えられる。

各質問項目に関する基礎的な分布については、本調査報告書にある単純集計結果を参照されたい。なお、本調査データを用いて離婚理由と面会交流の実施状況の関連について分析を行った結果については、ジェンダー法学会第18回学術大会（2020年12月12日）にて報告されている。その内容の詳細に

ついては、別稿にて示される予定である。

### 3. 調査結果に対するコメント

高田恭子

#### 3.1 同居親を対象とした調査結果の特徴

##### (1) 回答者の属性・離婚の背景と方法

回答者全体が589人で、その内、女性96.6%、男性3.4%で、30代と40代で全体の86.8%を占める。仕事をしている人83.9%、その内、「会社員（正規）」42.9%、「会社員（非正規）」34.0%、「それ以外」23.1%である。仕事をしていない人（全体の16.1%、95人）の内、「仕事を探している」80.0%である。

離婚理由で多かったのは（複数回答）、「暴力・暴言」50.1%、「金銭問題」49.7%、「性格の不一致」47.9%、「家庭を顧みない」35.3%、「相手の不貞」32.3%である。

離婚後、「引っ越しを伴った」のは77.6%、その内、「新しい住居」61.7%、「実家」38.3%である。

離婚の方法は、「協議離婚」54.0%、「調停後の離婚」27.3%、「裁判離婚（審判離婚）」9.7%、「離婚届を出していない」9.0%である。全国での離婚方法の割合が、「協議離婚」87.2%、「調停後の離婚」10.0%、「審判・裁判」1.3%（2016年、厚生省『人口動態統計』）であるため、比較すると、裁判所の手続を回避する傾向がある中で法的手続に進んでいる点において、高葛藤で離別に至った層であると推測される。

##### (2) 養育費と面会交流の取り決めと実施状況

「養育費支払いの約束」をしたのが71.5%であるのに対して、養育費の支払いが「ずっとある」のは全体の38.4%、「しばらくだけ」25.0%、「ない」36.7%である。協議離婚以外の離婚方法が多いので、取り決めをした割合が高い結果が出たのではないだろうか。全国の母子世帯における養育費の取り決めの割合は44.2%、現在も受け取っている割合は25.4%である（厚生労働省「平成28年度全国ひとり親世帯等調査結果」）。

「面会交流の約束をした」のは41.4%で、その約束の内容は、割合が多い順に「月1回」55.7%、「月1回以上」20.9%、「2ヵ月に1回未満」13.9%、「2ヵ月に1回」9.4%である。実際の面会交流を約束内容と比べた状況は、「約束より少ない」42.9%、「変

化はない」47.1%、「約束より多い」10.0%である。約束をしていなくても面会交流を実施している場合も多いとも推測されるが、面会交流があるのは、全体の39.7%である。全国の母子世帯における面会交流の取り決めの割合は25.5%、面会交流を実施している割合は31.3%である（厚生労働省「平成28年度全国ひとり親世帯等調査結果」）。

### (3) 面会交流実施における制度の利用

面会交流実施の確保のために別居親が法的手続を利用した「はい」7.1%（42人）について、手続の内容（複数回答）は、「離婚後しばらく経ってからの調停」54.8%、「再調停・審判」38.1%、「履行勧告」19.0%、「間接強制」19.0%である。

面会交流をしている人で、FPIC（公益社団法人家庭問題情報センター）などの第三者支援機関の利用について、その支援を受けたことがあるのは全体の4.3%（10人）である。

### (4) 面会交流の内容と変化

面会交流がある人234人（全体の39.7%）の内、面会交流の内容として、直接会う面会交流（直接交流）があるのは97.4%である。直接交流がある228人の内、34.6%が宿泊を伴う交流を行っている。時の経過と共に頻度の変化もあるが、宿泊なしの直接交流のみを実施している149人の内、約17%が「月2回以上」、「1ヵ月から2ヵ月に1回程度」が35%から40%となっている。宿泊を伴う直接交流をしている79人の内、「月2回以上」は17%前後と、宿泊なしのグループと変わりがないが、「1ヵ月から2ヵ月に1回程度」が25%前後と、宿泊を伴わないグループよりも低くなるのは、距離が遠いから宿泊を伴っていることが要因で頻繁に交流するのが難しくなっていることも考えられる。

離婚から1～3年未満（1時点目）から3～5年未満（2時点目）、3～5年未満（2時点目）から5～10年未満（3時点目）の変化についての直接会う交流の変化は次の通りである。1時点目→2時点目：増加14.0%、変化なし65.7%、減少18.9%、2時点目→3時点目：増加9.6%、変化なし71.5%、減少18.9%である。10年間にわたり変化がない割合が半数以上で、増加や減少も見られるが、コンスタントに継続している家族が多い。

直接会う面会交流の変化があったその理由について、1時点目から2時点目、2時点目から3時点目で割合に少し変化もあるが、「子どもの都合にあ

わせて」の変化がどの時点においても最も多く（直接会う（宿泊なし）約30%）、「引っ越しして遠くなった」、および、「別居親が求めなくなった」が10%前後で、次に多い理由としてあげられている。

きょうだいがいる場合の面会交流実施状況について、子どもが複数いる人126人（全体の53.8%）の内、きょうだい間で実施状況に「差がある」46.0%、「差がない」54.0%である。

### (5) 面会交流の実施に対する気持ち・評価

面会交流がある人234人（全体の39.7%）の内、面会交流を「負担と感じた」78.6%、「感じてない」21.4%である。負担と感じた理由は（複数回答）、負担と感じた人184人の内、「連絡自体が負担」60.9%、「恐怖や不安・不信」54.9%、「スケジュールを合わせるのが大変」50.5%、「子にとっての心理的負担・影響」35.3%、「育児方針と合わない影響」32.1%、「子どもが面会の実施に消極的」24.5%、「プレゼントや食事等が気になる」21.2%、「経済的な負担」14.7%、「考える余裕がない」10.3%である。

面会交流がある人234人（全体の39.7%）の内、面会交流をしてよかったと思う84.2%、思わない15.8%である。よかったと思う人197人のその理由は（複数回答）、「子どもが喜んでいる」58.9%、「自分の時間ができる」32.5%、「親の責任を果たしていると感じる」32.0%、「別居親が喜んでいる」31.0%、「養育費、学費を払ってもらえた」25.9%、「いろいろ買ってもらえた」25.9%、「子どもの成長にプラス」22.8%、「子どもの相談相手になっている」13.2%、「子育ての相談が他方親とできた」7.6%である。

面会交流をしている同居親が、子どもと別居親との関係をどうみているかについて、「仲がいい」31.6%、「義務的に別居親と面会交流している」23.5%、「もっと会いたがっている」19.7%、「嫌がっている、会いたがっていない」15.8%である。

### (6) 面会交流をしなかった人の気持ちや評価

面会交流をしていない人355人（全体の60.3%）の内、その理由で割合の多いものは（複数回答）、「別居親が求めなかった」で、「あなたからも求めなかった」40.8%、「働きかけたけれども相手が求めなかった」16.9%、「連絡先が分からない」9.6%、死亡などの「他の理由」3.7%で、合わせると71.0%である。その他の理由において多いものが、「連絡



を取るのが嫌だった」31.3%、「子どもに有害だと感じた」31.0%、「あなたが嫌だと感じた」28.7%、「子どもが嫌がる」20.6%であった。自由記述で多かったのが、「DV・暴力などで危険を感じた」、「養育費の支払いが止まるとともに連絡がとれなくなった」という内容である。

面会交流をしなかった、中止したことについての同居親の気持ちとして、「会わせなくてよかった」47.0%、「わからない・なにも思わない」33.2%、「会わせてもよかった」8.2%、「手紙やメールのやりとりをさせればよかった」4.2%である。この項目における自由記述は多く、「正解が分からない」、「子どもが可愛そう」、「会って欲しかった」などの気持ち、「子どもが求めれば別居親を探したい」とする気持ちのほか、「DVがなければ、自分の身を守れるようになれば会わせられたかった」、など、子どもの気持ちを尊重したいとする意見が多い。また、いろいろなケースがあるので「面会交流をただする傾向はやめてほしい」との記述もある。

#### (7) 所感

本調査対象の属性から、全国的な傾向に比べて高葛藤にある対象者であるように推察されるが、面会交流をしている割合は全国平均に比べても低くはなく、直接会っている親子に関しては、1ヵ月に2回以上会っている割合が交流を行っている人の内の17%であり、頻繁に交流をしている親子が一定層いることがわかる。面会交流に対する気持ちとして、時間調整や相手に対する葛藤から負担に感じるとする割合は多いが、同時に、面会交流をしてよかったとする割合も多い。負担と感じる理由の54.9%に、相手に対する恐怖や不安、不信をあげられていることは、安心で安全な面会交流の実現の観点から見逃せない。面会交流をしなかった人は、安全性の問題や相手方の無関心をその理由にあげ、会わせなくてよかったと評価する一方で、会ってあげて欲しかった、あるいは、子どもの意思を尊重したいとする意見が多く見られた。

### 3.2 子ども経験者を対象とした調査結果の特徴

回答者が56人と少ないため、絞って結果をあげたい。

親の離婚理由について「知っている」73.2%（41人）の内、その理由として一番多い原因としてあげたのが「性格の不一致」58.5%（24人）で、「暴力」、「不貞」、「借金」が同割合で7.3%（3人）である。

別居親の養育費の支払っているかについて「はい」33.9%（19人）、「いいえ」48.2%（27人）、「分からない」17.9%（10人）である。それに対して、面会交流が「ある」55.4%（31人）である。面会交流をしている人の内、「満足」58.1%、「やや満足」6.1%、「どちらでもない」22.6%で、「不満」は9.7%である。

面会交流をして「良かったと思う」87.1%（27人）、「良かったと思わない」12.9%（4人）で、良かったと思う理由（複数回答）に多いものは、「会えてうれしい」63.0%、「思ってくれるのが嬉しい」51.9%、「別居親が喜んでいる」48.1%、「普段行けないところにでかけられる・美味しいものを食べさせてもらえる」44.4%、「いろいろ買ってもらえる」40.7%、お小遣いをもらえる25.9%、別居親の人柄や考え方を知れた22.2%である。

面会交流が「負担に感じる」64.5%（20人）で、その理由で多かったのが（複数回答）、「別居親からいろいろな情報を聞き出される」30.0%、「同居親が嫌がる・心理的に不安定になる」および「別居親を好きになれない」が25.0%である。

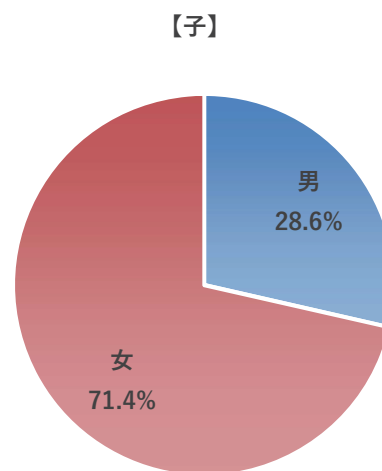
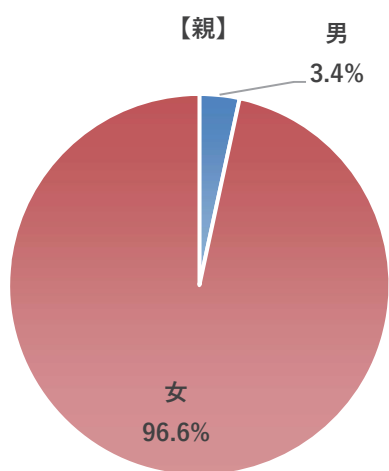
面会交流をしていない人（25人）が、子どもの頃どう感じていたかについて（複数回答）、「なにも思わなかった」44%、「連絡をとって見たかった」16.0%（4人）、「同居親に悪いと思いつけなかった」16.0%、「交流をしないでいいと思った」12.0%（3人）、「許せないから会いたくなかった」8.0%（2人）である。

#### 4. 単純集計結果

本単純集計にある問い番号(Q5-Q55)は、Web調査システムに付されていた質問番号であり、Q7からQ37が同居親のみに向けた質問、Q39からQ55が子ども経験者のみに向けた質問である。

Q5 あなたの性別を選択して下さい。(単一回答)

	(実数)	(%)	(実数)	(%)
	親		子	
男	20	3.4%	16	28.6%
女	569	96.6%	40	71.4%
合計	589	100.0%	56	100.0%

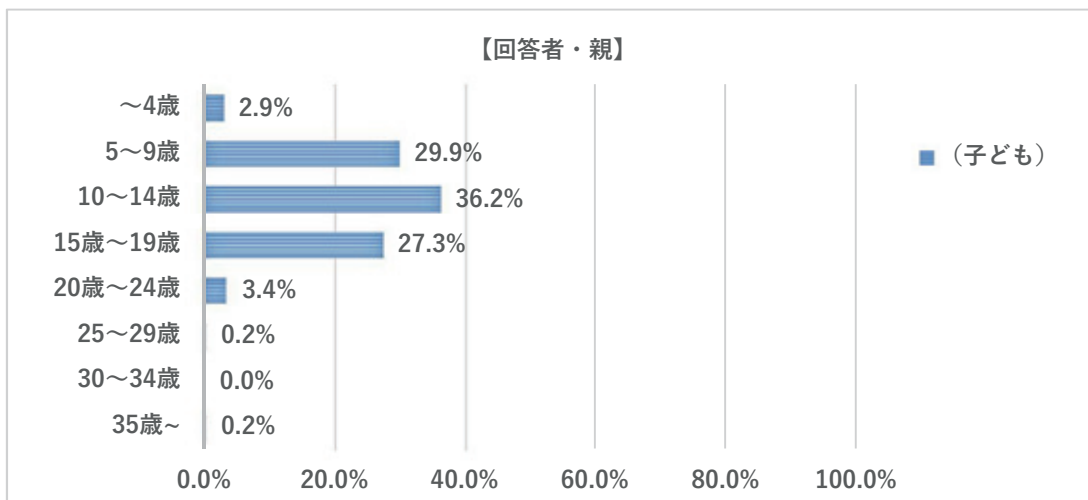
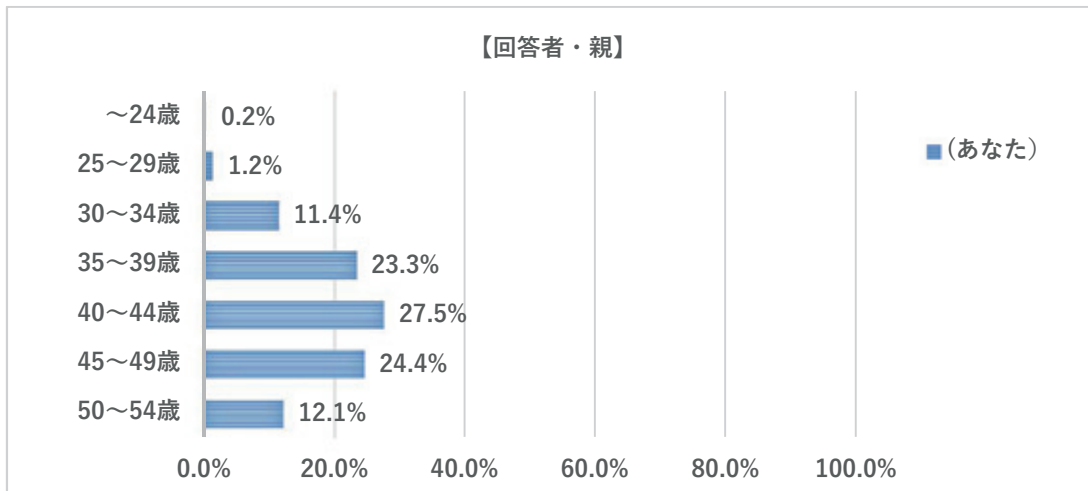


Q6 あなたの生年月日を教えてください。（自由回答）

【回答者・親】

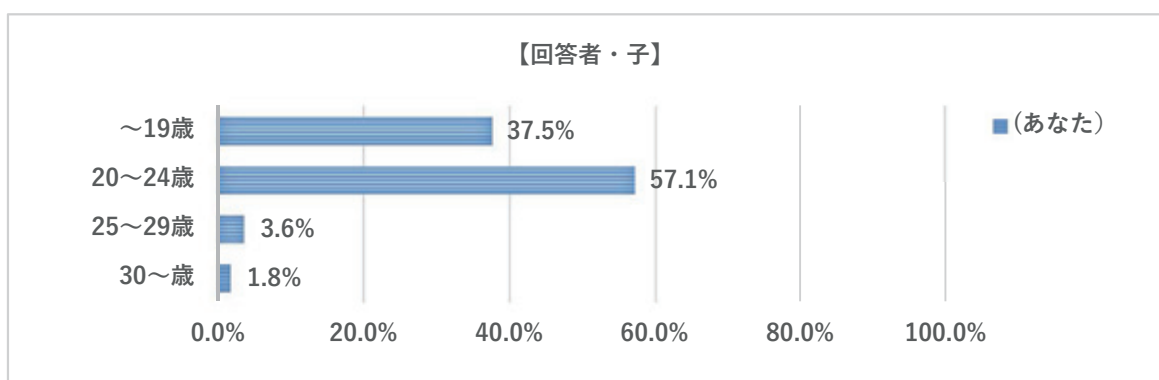
(あなた)	(実数)	(%)
～24歳	1	0.2%
25～29歳	7	1.2%
30～34歳	67	11.4%
35～39歳	137	23.3%
40～44歳	162	27.5%
45～49歳	144	24.4%
50～54歳	71	12.1%
合 計	589	100.0%

(子ども)	(実数)	(%)
～4歳	17	2.9%
5～9歳	176	29.9%
10～14歳	213	36.2%
15歳～19歳	161	27.3%
20歳～24歳	20	3.4%
25～29歳	1	0.2%
30～34歳	0	0.0%
35歳～	1	0.2%
合 計	589	100.0%



## 【回答者・子】

(あなた)	(実数)	(%)
～19歳	21	37.5%
20～24歳	32	57.1%
25～29歳	2	3.6%
30～歳	1	1.8%
合 計	56	100.0%

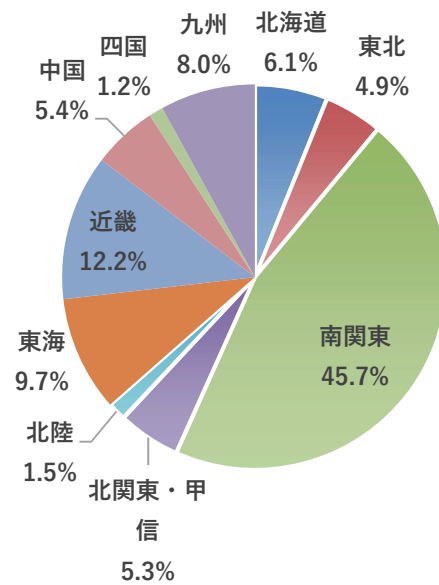




【同居親の調査結果】

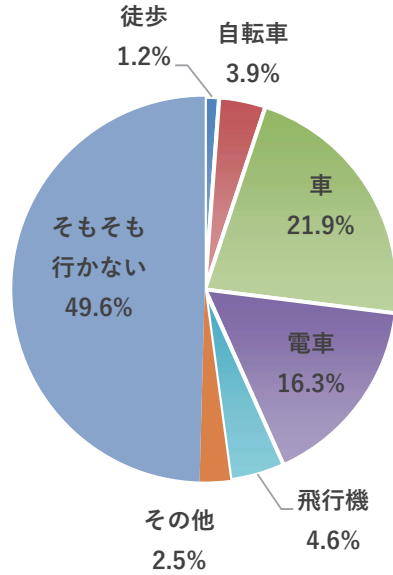
Q7 あなたの住んでいる都道府県を選択してください。（単一回答）

	(実数)	(%)
北海道	36	6.1%
東北	29	4.9%
南関東	269	45.7%
北関東・甲信	31	5.3%
北陸	9	1.5%
東海	57	9.7%
近畿	72	12.2%
中国	32	5.4%
四国	7	1.2%
九州	47	8.0%
合計	589	100.0%



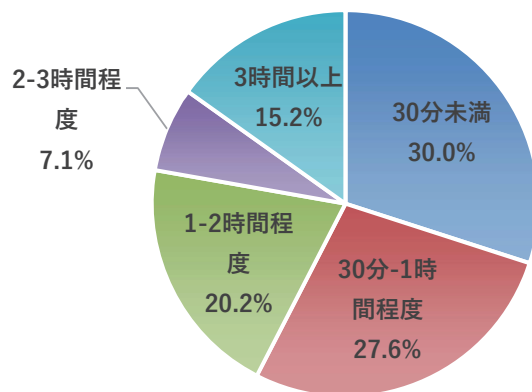
Q9 別居親（子どもと離れて暮らす親）の住んでいる所に移動する方法として、最も便利な移動方法（メインとなる移動手段）を選択して下さい。（単一回答）

	(実数)	(%)
徒歩	7	1.2%
自転車	23	3.9%
車	129	21.9%
電車	96	16.3%
飛行機	27	4.6%
その他	15	2.5%
そもそも行かない	292	49.6%
合計	589	100.0%



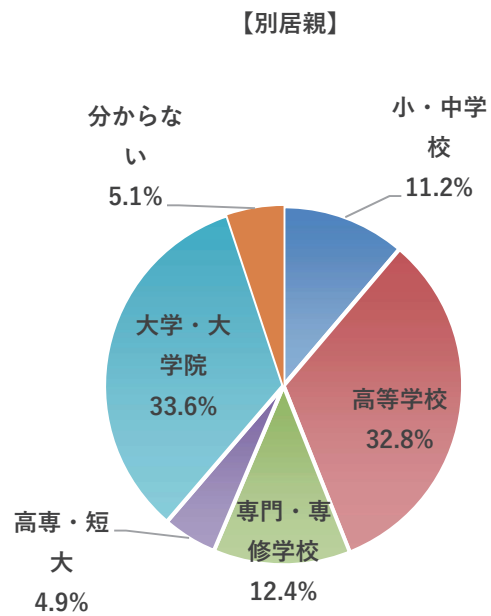
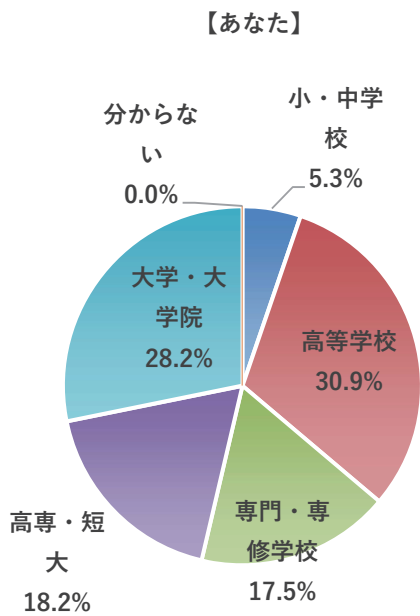
Q10 別居親（子どもと離れて暮らす親）の住んでいる所に移動する方法として、最も便利な移動方法（【Q9の選択内容】）で行くのにかかる時間を選択して下さい。（単一回答）

	(実数)	(%)
30分未満	89	30.0%
30分-1時間程度	82	27.6%
1-2時間程度	60	20.2%
2-3時間程度	21	7.1%
3時間以上	45	15.2%
合計	297	100.0%



Q11 あなたと別居親の最終学歴について回答してください。（マトリクス・単一回答）

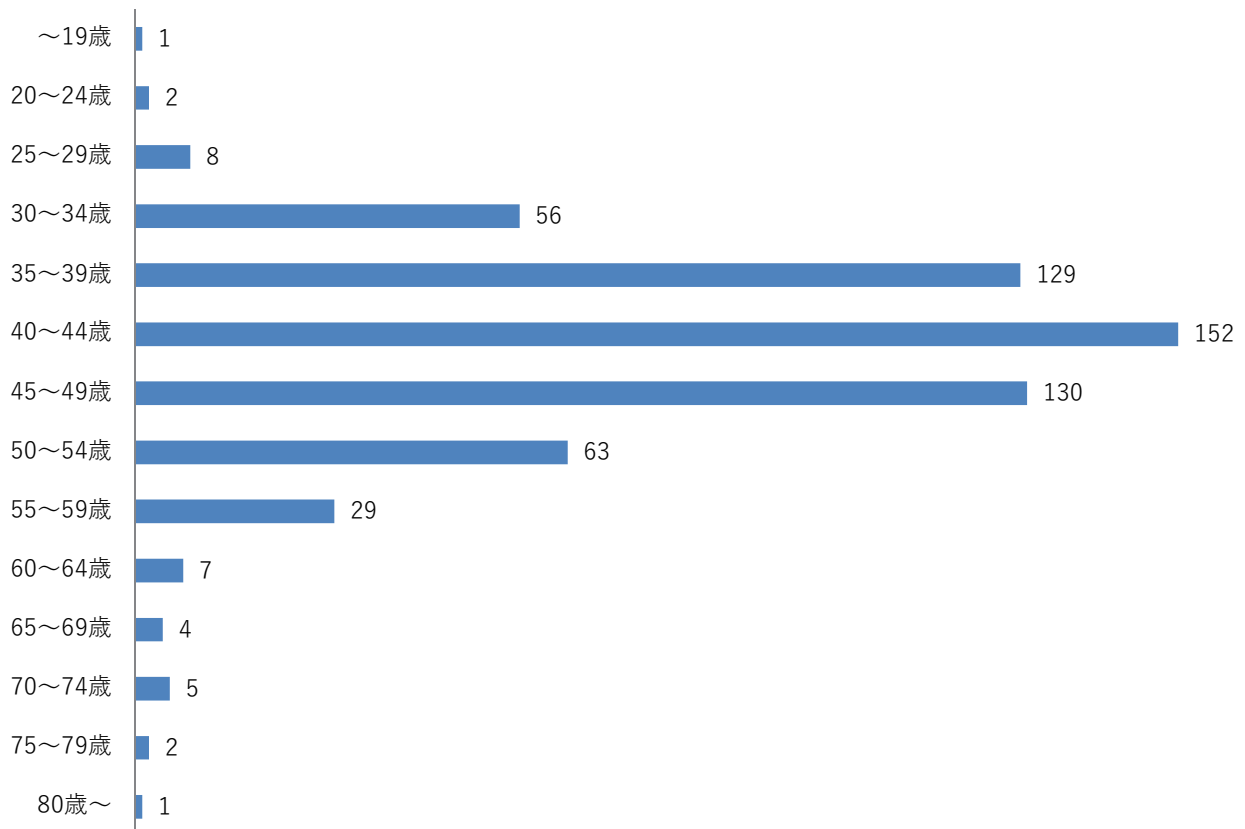
	(実数) (%)		(実数) (%)	
	あなた		別居親	
小・中学校	31	5.3%	66	11.2%
高等学校	182	30.9%	193	32.8%
専門・専修学校	103	17.5%	73	12.4%
高専・短大	107	18.2%	29	4.9%
大学・大学院	166	28.2%	198	33.6%
分からない	0	0.0%	30	5.1%
合計	589	100.0%	589	100.0%



Q12 別居親の現在の年齢を教えてください。（自由回答）

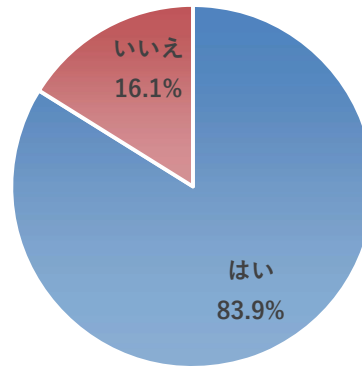
（実数）

～19歳	1
20～24歳	2
25～29歳	8
30～34歳	56
35～39歳	129
40～44歳	152
45～49歳	130
50～54歳	63
55～59歳	29
60～64歳	7
65～69歳	4
70～74歳	5
75～79歳	2
80歳～	1
合 計	589



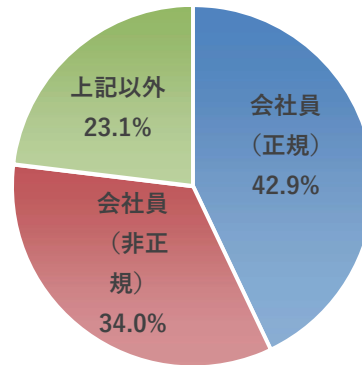
Q13 あなたは仕事をしていますか。また、仕事についてお聞きします。（単一回答）

	(実数)	(%)
はい	494	83.9%
いいえ	95	16.1%
合計	589	100.0%

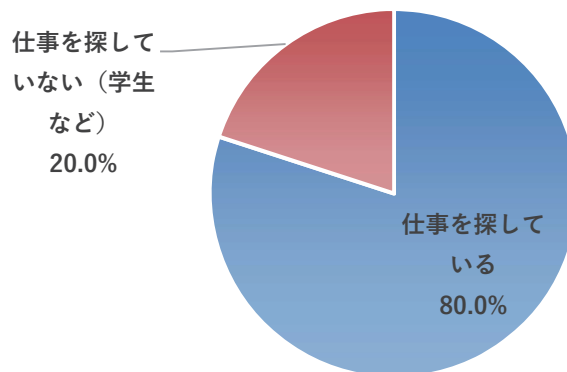


【仕事について】

(はい)	(実数)	(%)
会社員（正規）	212	42.9%
会社員（非正規）	168	34.0%
上記以外	114	23.1%
合計	494	100.0%

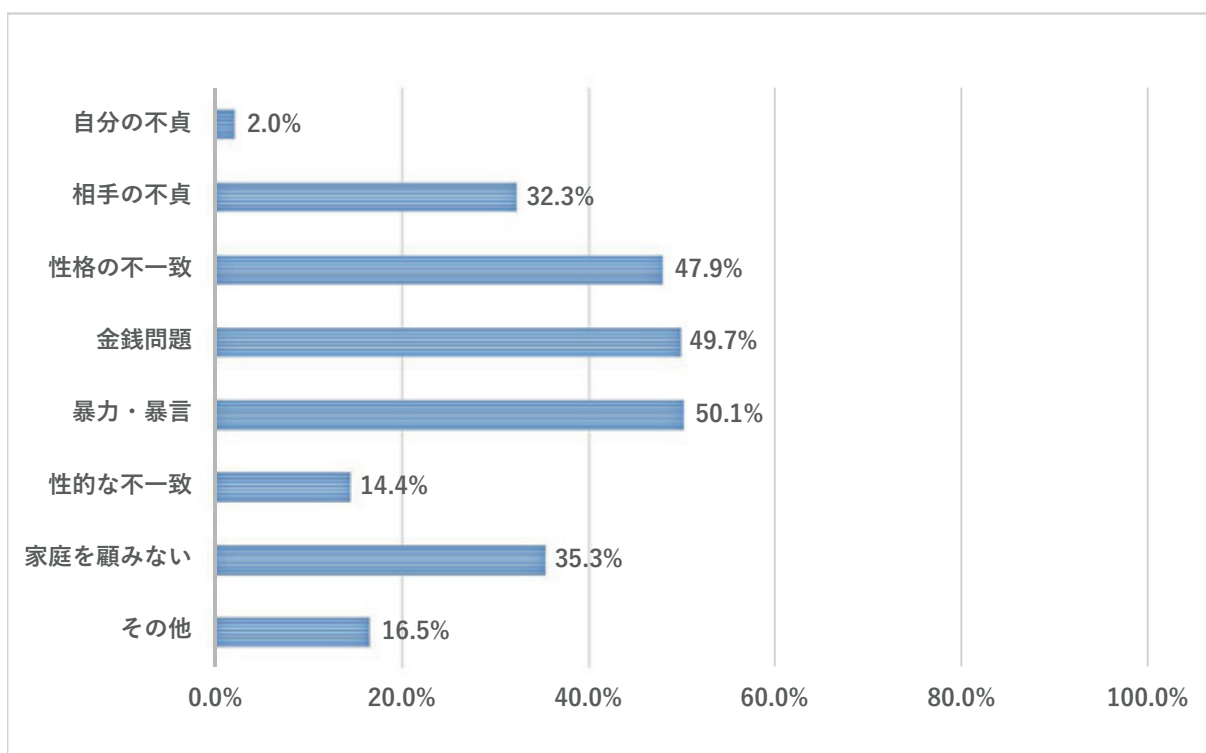


(いいえ)	(実数)	(%)
仕事を探している	76	80.0%
仕事を探していない（学生など）	19	20.0%
合計	95	100.0%



Q16 別居や離婚の原因を教えてください。（複数回答）

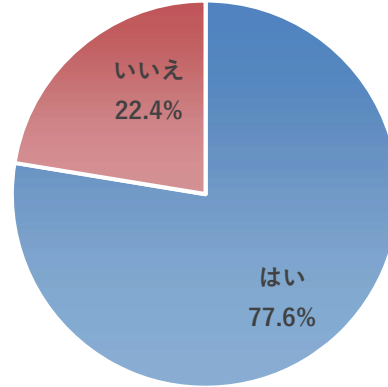
	(実数)	(%)
自分の不貞	12	2.0%
相手の不貞	190	32.3%
性格の不一致	282	47.9%
金銭問題	293	49.7%
暴力・暴言	295	50.1%
性的な不一致	85	14.4%
家庭を顧みない	208	35.3%
その他	97	16.5%
全 体	589	100.0%





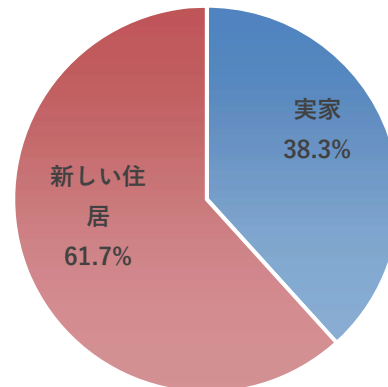
Q17 別居・離婚に伴って引っ越しをしましたか。また、引っ越し先についてお聞きます。  
 （単一回答）

	(実数)	(%)
はい	457	77.6%
いいえ	132	22.4%
合計	589	100.0%



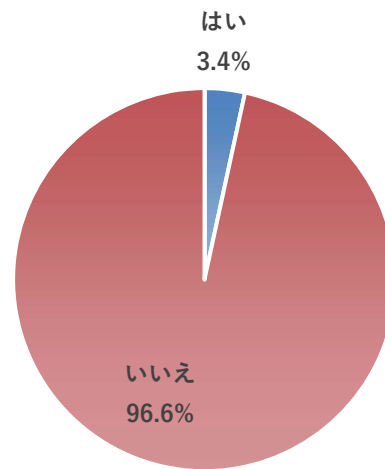
【引っ越し先について】

(はい)	(実数)	(%)
実家	175	38.3%
新しい住居	282	61.7%
合計	457	100.0%



Q18 再婚をしましたか。再婚した方は、再婚した年を西暦で回答してください。（単一回答）

	(実数)	(%)
はい	20	3.4%
いいえ	569	96.6%
合 計	589	100.0%

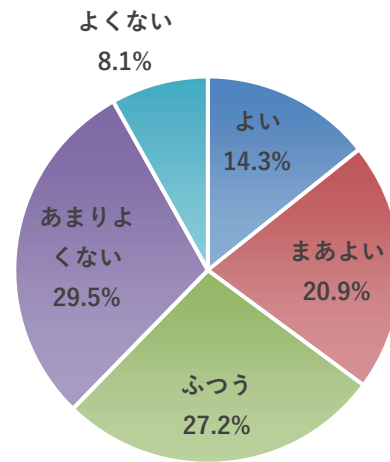


【再婚した年】

(はい)	(実数)
2020年	1
2019年	2
2018年	2
2017年	1
2016年	1
2015年	2
2014年	4
2013年	1
2011年	1
2010年	1
2009年	1
2008年	1
2007年	1
2001年	1
合 計	20

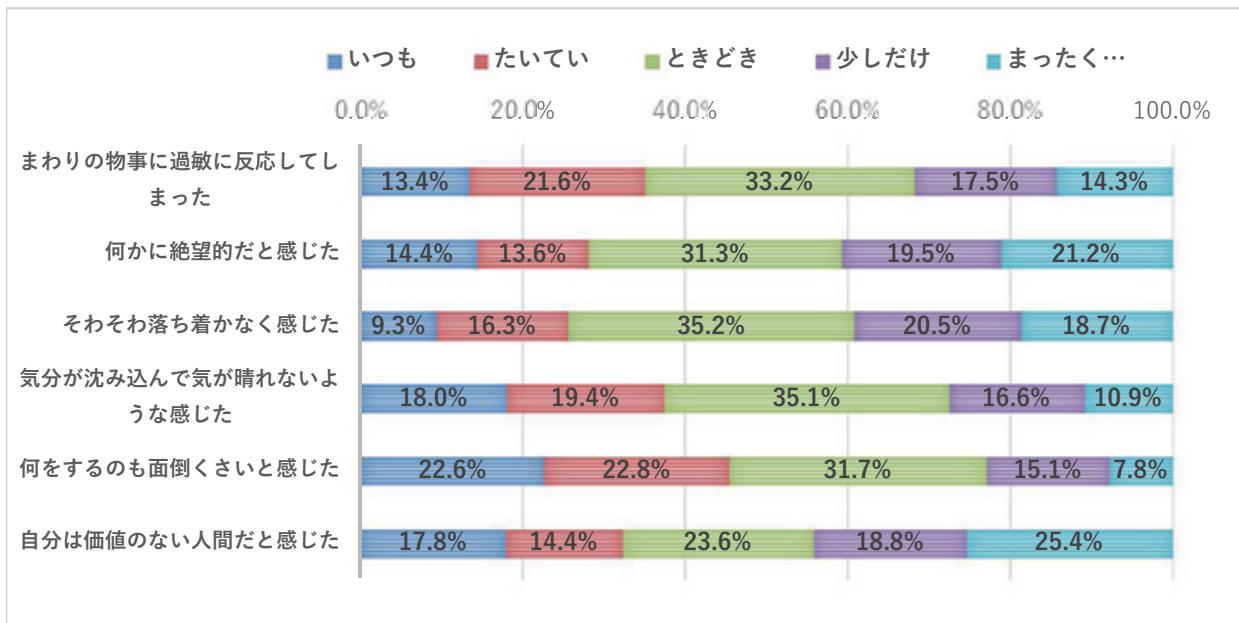
Q19 あなたの現在の健康状態はいかがですか。（単一回答）

	(実数)	(%)
よい	84	14.3%
まあよい	123	20.9%
ふつう	160	27.2%
あまりよくない	174	29.5%
よくない	48	8.1%
合計	589	100.0%



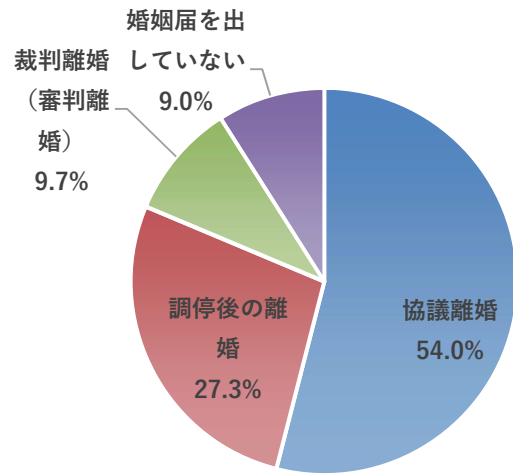
Q20 次の質問について、ここ1か月のあなたの気持ちはどうでしたか。  
 (マトリクス・単一回答)

	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
	いつも	たいてい	ときどき	少しだけ	まったく ない
まわりの物事に過敏に反応してしまっ	13.4%	21.6%	33.2%	17.5%	14.3%
何かに絶望的だと感じた	14.4%	13.6%	31.3%	19.5%	21.2%
そわそわ落ち着かなく感じた	9.3%	16.3%	35.2%	20.5%	18.7%
気分が沈み込んで気が晴れないよ	18.0%	19.4%	35.1%	16.6%	10.9%
何をするのも面倒くさいと感じ	22.6%	22.8%	31.7%	15.1%	7.8%
自分は価値のない人間だと感じ	17.8%	14.4%	23.6%	18.8%	25.4%



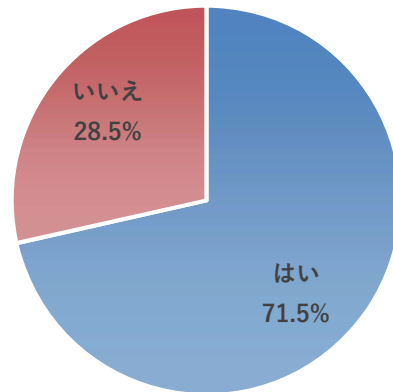
Q21 離婚・離別の方式を教えてください。（単一回答）

	(実数)	(%)
協議離婚	318	54.0%
調停後の離婚	161	27.3%
裁判離婚（審判離婚）	57	9.7%
婚姻届を出していない	53	9.0%
合計	589	100.0%



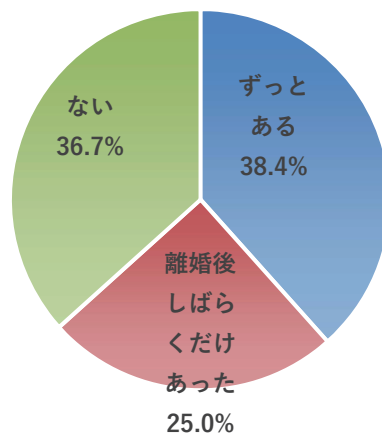
Q22 離婚・離別時に養育費支払いの約束をしましたか。（単一回答）

	(実数)	(%)
はい	421	71.5%
いいえ	168	28.5%
合計	589	100.0%



Q23 別居親からの養育費支払いはありますか。（単一回答）

	(実数)	(%)
ずっとある	226	38.4%
離婚後しばらくだけあった	147	25.0%
ない	216	36.7%
合 計	589	100.0%

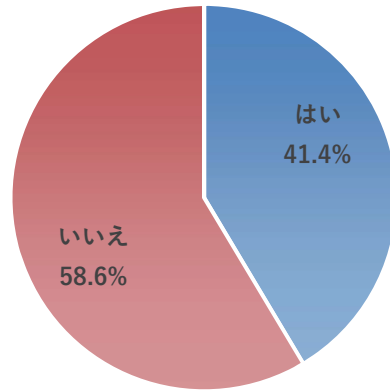




Q24 離婚時に面会交流の約束をしましたか。

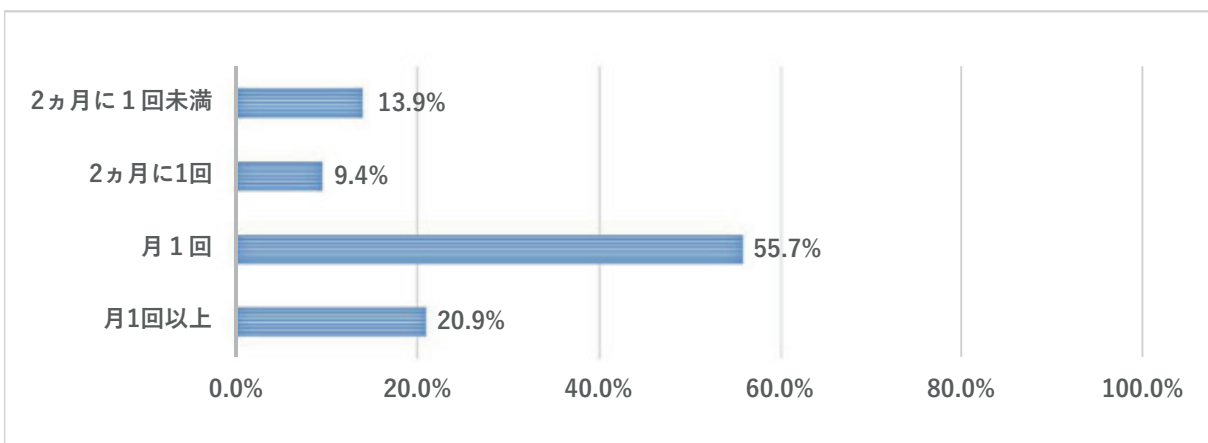
した方は、面会交流の約束の内容を教えてください。（単一回答）

	(実数)	(%)
はい	244	41.4%
いいえ	345	58.6%
合計	589	100.0%



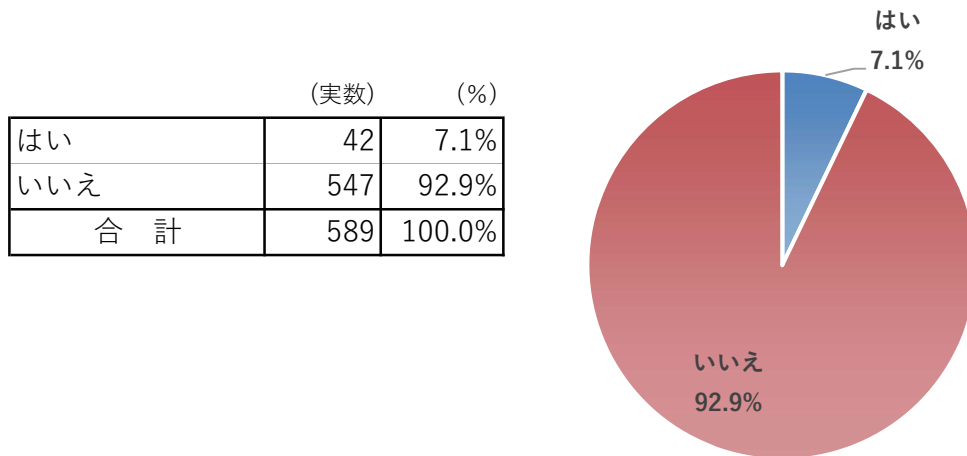
【面会交流の約束の内容】

(はい)	(実数)	(%)
2ヵ月に1回未満	34	13.9%
2ヵ月に1回	23	9.4%
月1回	136	55.7%
月1回以上	51	20.9%
合計	244	100.0%



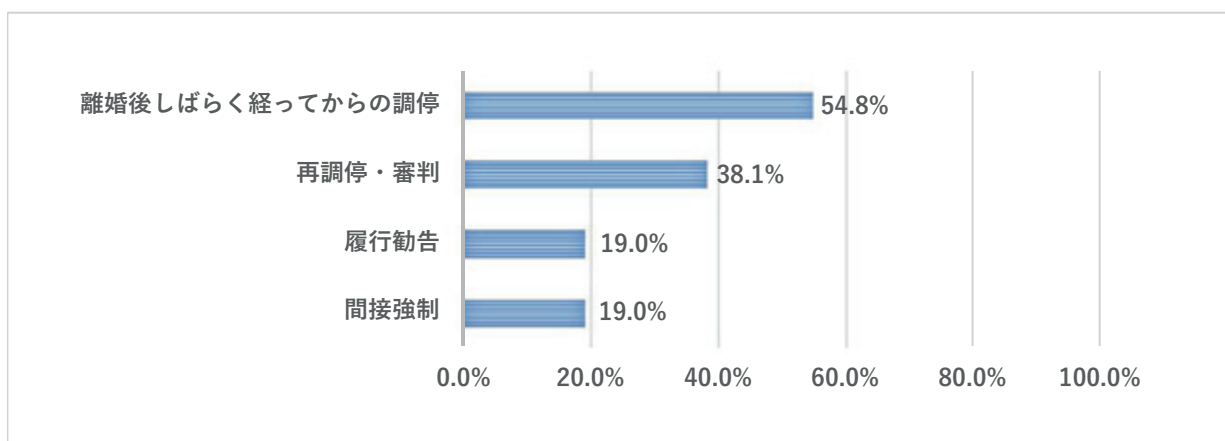
Q25 面会交流をめぐり、別居親からの法的な手続き（履行勧告、強制執行など）はありましたか。  
（複数回答）

※これには、単に離婚届を出すことや、家庭裁判所で離婚調停を行ったことを含みません。



#### 【法的な手続きの内容】

(はい)	(実数)	(%)
離婚後しばらく経ってからの調停	23	54.8%
再調停・審判	16	38.1%
履行勧告	8	19.0%
間接強制	8	19.0%
全体	42	100.0%



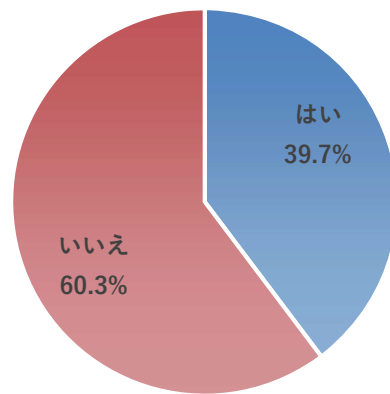
Q26 別居親との面会交流はありますか。（単一回答）

※「面会交流がある」とは、1年に1回以上、子どもと別居親が直接会ったり、FaceTime やスカイプなどテレビ電話を含む電話や手紙のやりとりがある場合をいいます。

同居親が一方的に写真などで子どもについて報告している場合を除きます。

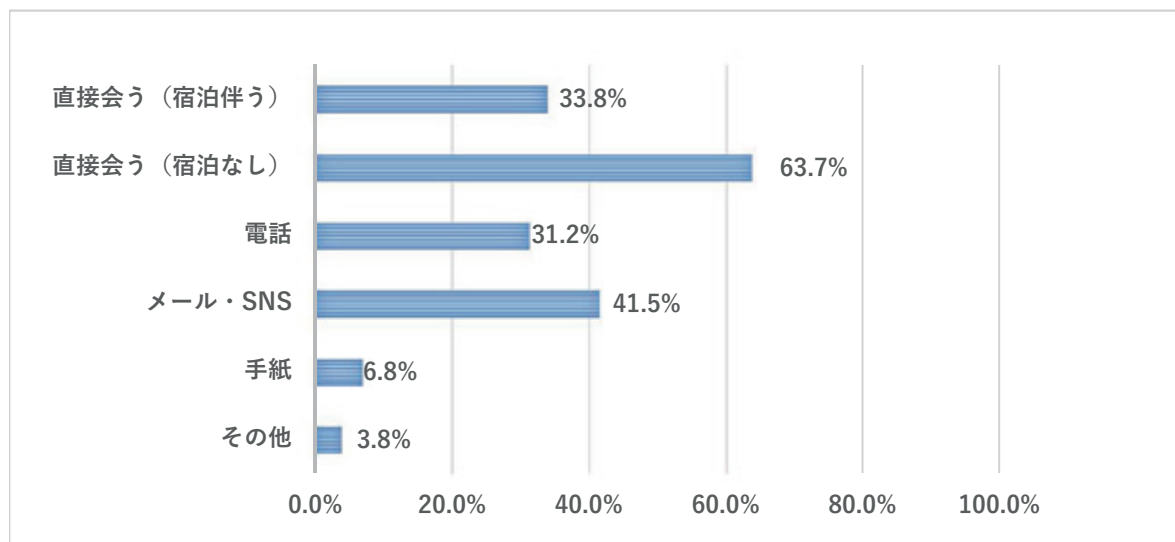
※「面会交流がない」とは、子どもが15才までに、会ったり手紙のやりとりが年1回もない（数年に1度だけある場合も「面会交流がない」に該当します）。

	(実数)	(%)
はい	234	39.7%
いいえ	355	60.3%
合 計	589	100.0%



Q27 前問で面会交流があると回答した方にお聞きします。内容もお答えください。  
(複数回答)

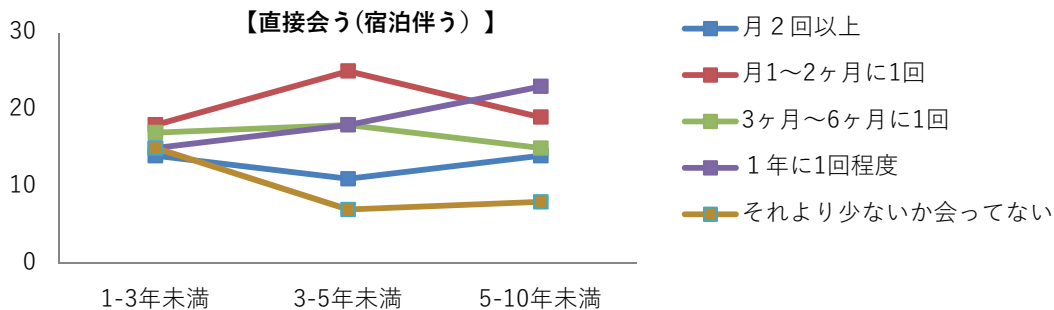
	(実数)	(%)
直接会う(宿泊伴う)	79	33.8%
直接会う(宿泊なし)	149	63.7%
電話	73	31.2%
メール・SNS	97	41.5%
手紙	16	6.8%
その他	9	3.8%
全体	234	100.0%



Q28 別居・離婚してから、面会交流の回数の頻度についてお聞かせ下さい。  
 （マトリクス・単一回答）

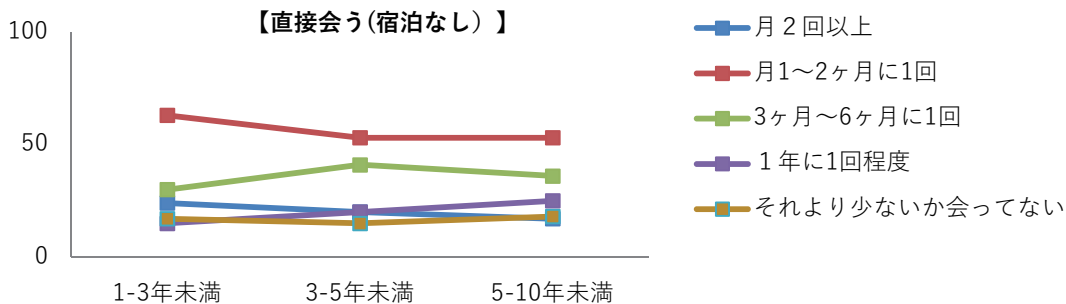
→ 直接会う（宿泊伴う）

（頻 度）	（実数）		（実数）		（実数）	
	（%）		（%）		（%）	
	1-3年未満		3-5年未満		5-10年未満	
月2回以上	14	17.7%	11	13.9%	14	17.7%
月1～2ヶ月に1回	18	22.8%	25	31.6%	19	24.1%
3ヶ月～6ヶ月に1回	17	21.5%	18	22.8%	15	19.0%
1年に1回程度	15	19.0%	18	22.8%	23	29.1%
それより少ないか会ってない	15	19.0%	7	8.9%	8	10.1%
合 計	79	100.0%	79	100.0%	79	100.0%



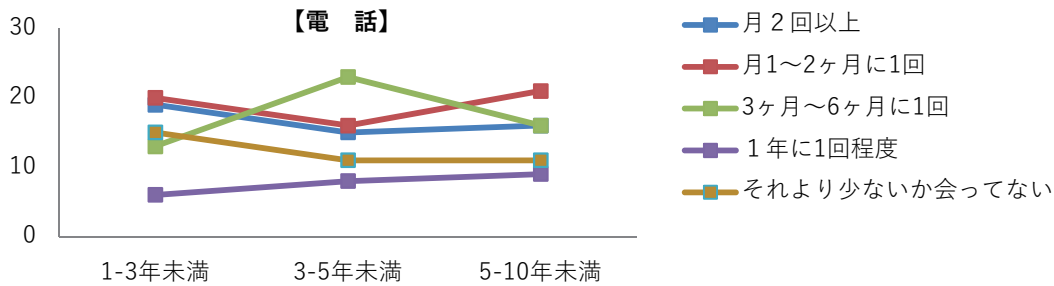
→ 直接会う（宿泊なし）

（頻 度）	（実数）		（実数）		（実数）	
	（%）		（%）		（%）	
	1-3年未満		3-5年未満		5-10年未満	
月2回以上	24	16.1%	20	13.4%	17	11.4%
月1～2ヶ月に1回	63	42.3%	53	35.6%	53	35.6%
3ヶ月～6ヶ月に1回	30	20.1%	41	27.5%	36	24.2%
1年に1回程度	15	10.1%	20	13.4%	25	16.8%
それより少ないか会ってない	17	11.4%	15	10.1%	18	12.1%
合 計	149	100.0%	149	100.0%	149	100.0%



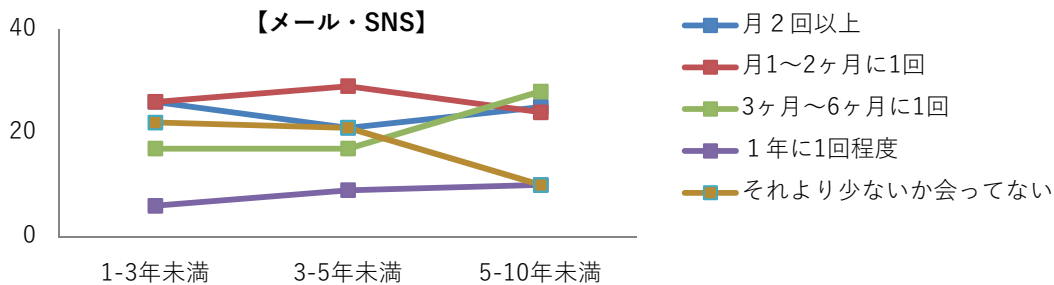
→ 電 話

(頻 度)	(実数) (%)		(実数) (%)		(実数) (%)	
	1-3年未満		3-5年未満		5-10年未満	
月2回以上	19	26.0%	15	20.5%	16	21.9%
月1～2ヶ月に1回	20	27.4%	16	21.9%	21	28.8%
3ヶ月～6ヶ月に1回	13	17.8%	23	31.5%	16	21.9%
1年に1回程度	6	8.2%	8	11.0%	9	12.3%
それより少ないか会ってない	15	20.5%	11	15.1%	11	15.1%
合 計	73	100.0%	73	100.0%	73	100.0%



→ メール・SNS

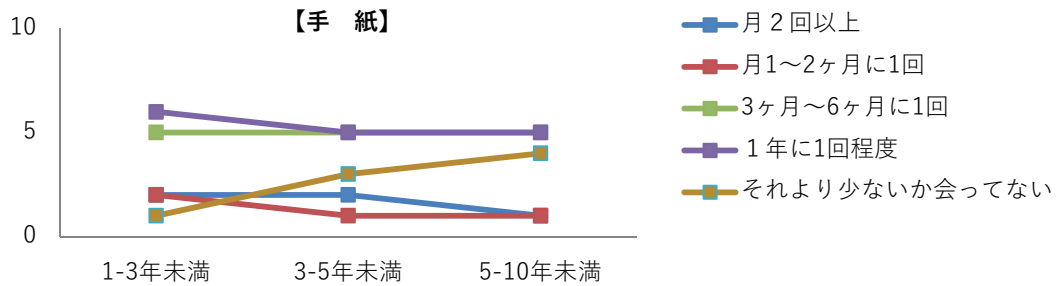
(頻 度)	(実数) (%)		(実数) (%)		(実数) (%)	
	1-3年未満		3-5年未満		5-10年未満	
月2回以上	26	26.8%	21	21.6%	25	25.8%
月1～2ヶ月に1回	26	26.8%	29	29.9%	24	24.7%
3ヶ月～6ヶ月に1回	17	17.5%	17	17.5%	28	28.9%
1年に1回程度	6	6.2%	9	9.3%	10	10.3%
それより少ないか会ってない	22	22.7%	21	21.6%	10	10.3%
合 計	97	100.0%	97	100.0%	97	100.0%





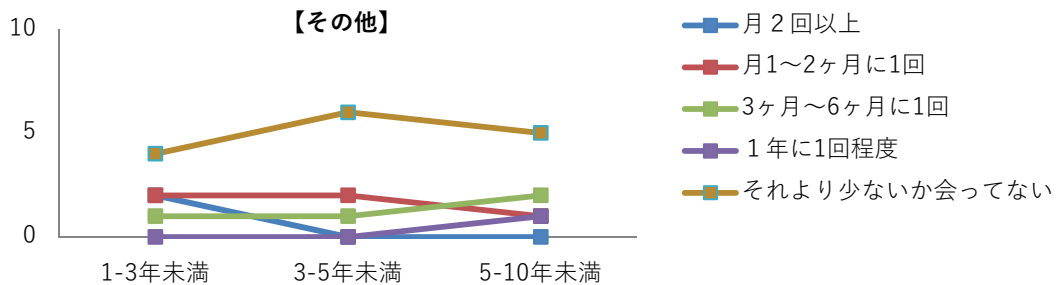
→ 手紙

(頻度)	(実数) (%)		(実数) (%)		(実数) (%)	
	1-3年未満		3-5年未満		5-10年未満	
月2回以上	2	12.5%	2	12.5%	1	6.3%
月1～2ヶ月に1回	2	12.5%	1	6.3%	1	6.3%
3ヶ月～6ヶ月に1回	5	31.3%	5	31.3%	5	31.3%
1年に1回程度	6	37.5%	5	31.3%	5	31.3%
それより少ないか会ってない	1	6.3%	3	18.8%	4	25.0%
合計	16	100.0%	16	100.0%	16	100.0%



→ その他

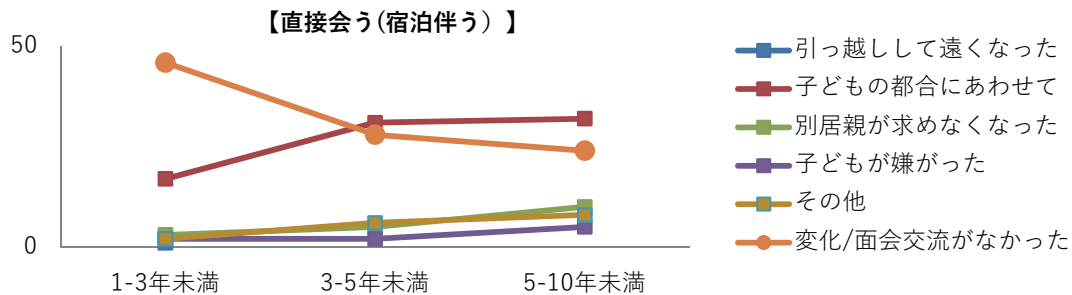
(頻度)	(実数) (%)		(実数) (%)		(実数) (%)	
	1-3年未満		3-5年未満		5-10年未満	
月2回以上	2	22.2%	0	0.0%	0	0.0%
月1～2ヶ月に1回	2	22.2%	2	22.2%	1	11.1%
3ヶ月～6ヶ月に1回	1	11.1%	1	11.1%	2	22.2%
1年に1回程度	0	0.0%	0	0.0%	1	11.1%
それより少ないか会ってない	4	44.4%	6	66.7%	5	55.6%
合計	9	100.0%	9	100.0%	9	100.0%



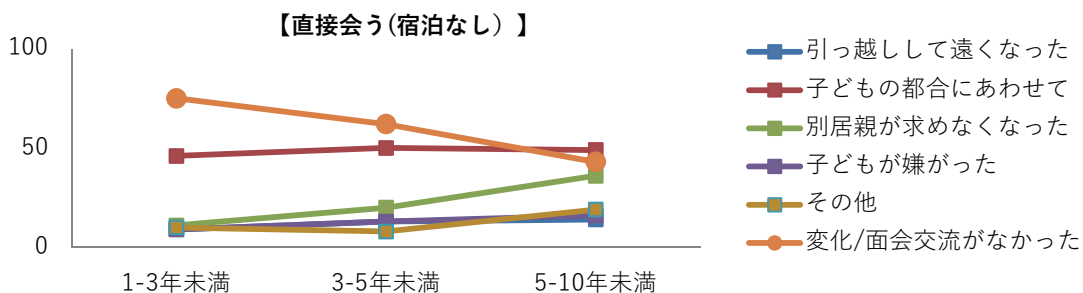
Q29 別居・離婚してから、面会交流の回数など、変化はありましたか。

ある方は、変化が起きた理由もあわせておしらせください。（マトリクス・複数回答）

→ 直接会う（宿泊伴う） (変化があった)	1-3年未満		3-5年未満		5-10年未満	
	(実数)	(%)	(実数)	(%)	(実数)	(%)
引っ越しして遠くなった	12	15.2%	12	15.2%	13	16.5%
子どもの都合にあわせて	17	21.5%	31	39.2%	32	40.5%
別居親が求めなくなった	3	3.8%	5	6.3%	10	12.7%
子どもが嫌がった	2	2.5%	2	2.5%	5	6.3%
その他	2	2.5%	6	7.6%	8	10.1%
変化/面会交流がなかった	46	58.2%	28	35.4%	24	30.4%
全 体	79	100.0%	79	100.0%	79	100.0%



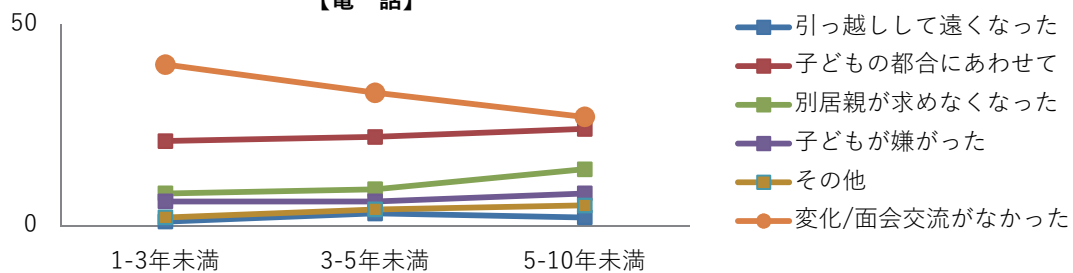
→ 直接会う（宿泊なし） (変化があった)	1-3年未満		3-5年未満		5-10年未満	
	(実数)	(%)	(実数)	(%)	(実数)	(%)
引っ越しして遠くなった	9	6.0%	13	8.7%	14	9.4%
子どもの都合にあわせて	46	30.9%	50	33.6%	49	32.9%
別居親が求めなくなった	11	7.4%	20	13.4%	36	24.2%
子どもが嫌がった	9	6.0%	13	8.7%	16	10.7%
その他	10	6.7%	8	5.4%	19	12.8%
変化/面会交流がなかった	75	50.3%	62	41.6%	43	28.9%
全 体	149	100.0%	149	100.0%	149	100.0%



→ 電 話 (実数) (%) (実数) (%) (実数) (%)

(変化があった)	1-3年未満		3-5年未満		5-10年未満	
引っ越しして遠くなった	1	1.4%	3	4.1%	2	2.7%
子どもの都合にあわせて	21	28.8%	22	30.1%	24	32.9%
別居親が求めなくなった	8	11.0%	9	12.3%	14	19.2%
子どもが嫌がった	6	8.2%	6	8.2%	8	11.0%
その他	2	2.7%	4	5.5%	5	6.8%
変化/面会交流がなかった	40	54.8%	33	45.2%	27	37.0%
全 体	73	100.0%	73	100.0%	73	100.0%

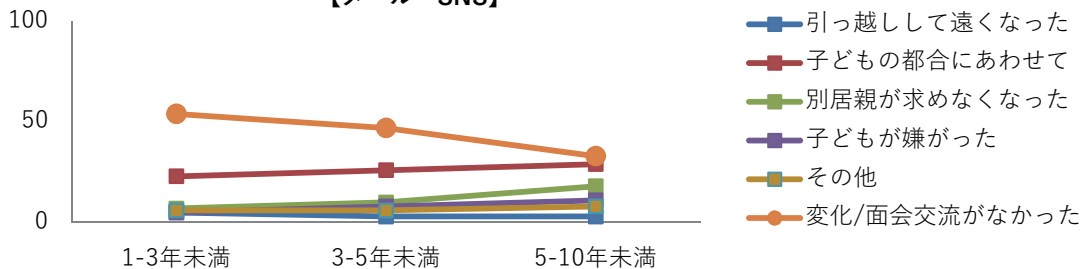
【電 話】



→ メール・SNS (実数) (%) (実数) (%) (実数) (%)

(変化があった)	1-3年未満		3-5年未満		5-10年未満	
引っ越しして遠くなった	5	5.2%	3	3.1%	3	3.1%
子どもの都合にあわせて	23	23.7%	26	26.8%	29	29.9%
別居親が求めなくなった	7	7.2%	10	10.3%	18	18.6%
子どもが嫌がった	5	5.2%	8	8.2%	11	11.3%
その他	6	6.2%	6	6.2%	8	8.2%
変化/面会交流がなかった	54	55.7%	47	48.5%	33	34.0%
全 体	97	100.0%	97	100.0%	97	100.0%

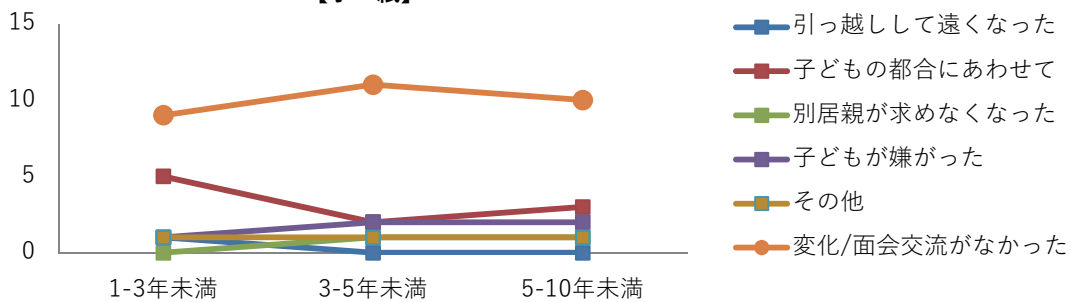
【メール・SNS】



→ 手紙 (実数) (%) (実数) (%) (実数) (%)

(変化があった)	1-3年未満		3-5年未満		5-10年未満	
引っ越しして遠くなった	1	6.3%	0	0.0%	0	0.0%
子どもの都合にあわせて	5	31.3%	2	12.5%	3	18.8%
別居親が求めなくなった	0	0.0%	1	6.3%	1	6.3%
子どもが嫌がった	1	6.3%	2	12.5%	2	12.5%
その他	1	6.3%	1	6.3%	1	6.3%
変化/面会交流がなかった	9	56.3%	11	68.8%	10	62.5%
全体	16	100.0%	16	100.0%	16	100.0%

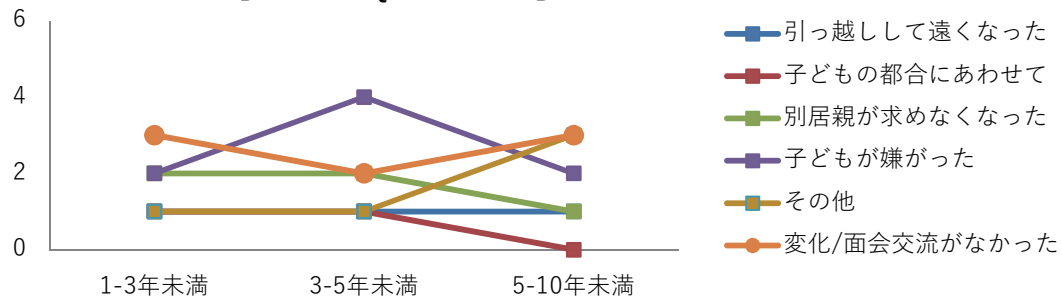
【手紙】



→ その他 ※Q27その他より (実数) (%) (実数) (%) (実数) (%)

(変化があった)	1-3年未満		3-5年未満		5-10年未満	
引っ越しして遠くなった	1	11.1%	1	11.1%	1	11.1%
子どもの都合にあわせて	1	11.1%	1	11.1%	0	0.0%
別居親が求めなくなった	2	22.2%	2	22.2%	1	11.1%
子どもが嫌がった	2	22.2%	4	44.4%	2	22.2%
その他	1	11.1%	1	11.1%	3	33.3%
変化/面会交流がなかった	3	33.3%	2	22.2%	3	33.3%
全体	9	100.0%	9	100.0%	9	100.0%

【その他 ※Q27その他より】



【直接会う】

(頻 度)	1時点目→2時点目		2時点目→3時点目	
	(実数)	(%)	(実数)	(%)
減 少	46	20.2%	43	18.9%
変化なし	150	65.8%	163	71.5%
増 加	32	14.0%	22	9.6%
合 計	228	100.0%	228	100.0%

→ 宿泊あり

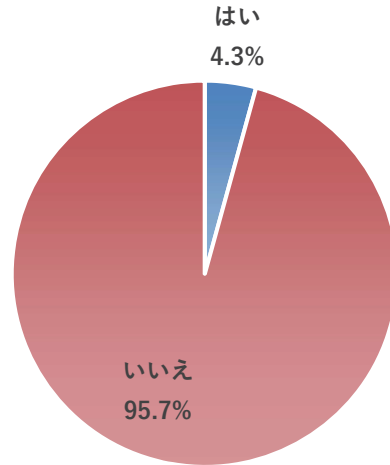
(頻 度)	1時点目→2時点目		2時点目→3時点目	
	(実数)	(%)	(実数)	(%)
減 少	13	16.5%	16	20.3%
変化なし	50	63.3%	55	69.6%
増 加	16	20.3%	8	10.1%
合 計	79	100.0%	79	100.0%

→ 宿泊なし

(頻 度)	1時点目→2時点目		2時点目→3時点目	
	(実数)	(%)	(実数)	(%)
減 少	33	22.1%	27	18.1%
変化なし	100	67.1%	108	72.5%
増 加	16	10.7%	14	9.4%
合 計	149	100.0%	149	100.0%

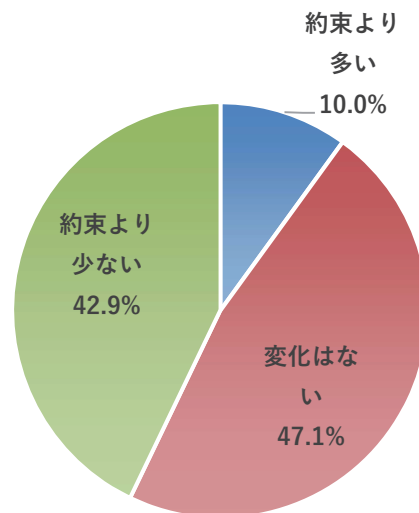
Q30 FPIC（家庭問題情報センター）などの面会交流をする際の「サポート（面会交流支援）」を受けたことがありますか。「サポート」には、別居親との連絡調整や子どもの受け渡し、面会交流時の付き添いなどがあります。（単一回答）

	(実数)	(%)
はい	10	4.3%
いいえ	224	95.7%
合計	234	100.0%



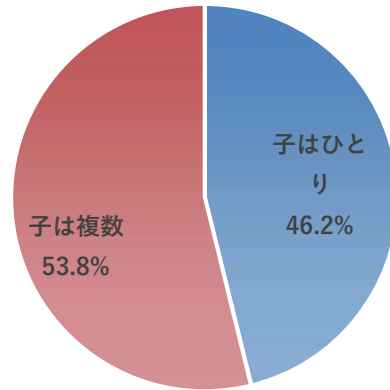
Q31 離婚・離別時の約束の内容と比べて面会交流の状況はどうか。（単一回答）

	(実数)	(%)
約束より多い	14	6.0%
変化はない	66	28.2%
約束より少ない	60	25.6%
合計	140	100.0%



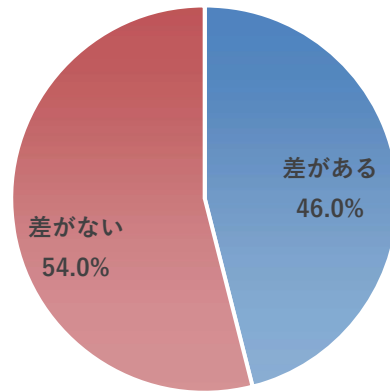
Q32 別居親を親とするお子さんが複数いらっしゃる場合、  
きょうだい間で面会交流の実施状況に差がありますか。（単一回答）

	(実数)	(%)
子はひとり	108	46.2%
子は複数	126	53.8%
合計	234	100.0%



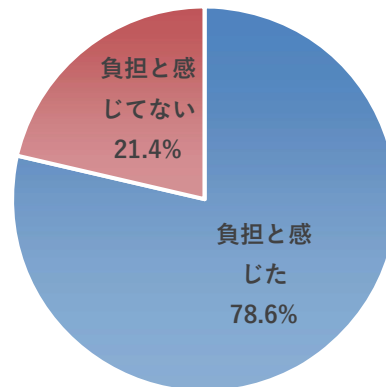
【きょうだい間で面会交流の実施状況の差】

(子は複数)	(実数)	(%)
差がある	58	46.0%
差がない	68	54.0%
合計	126	100.0%



Q33 面会交流が負担と感じましたか。負担と感じた理由を教えてください。（複数回答）

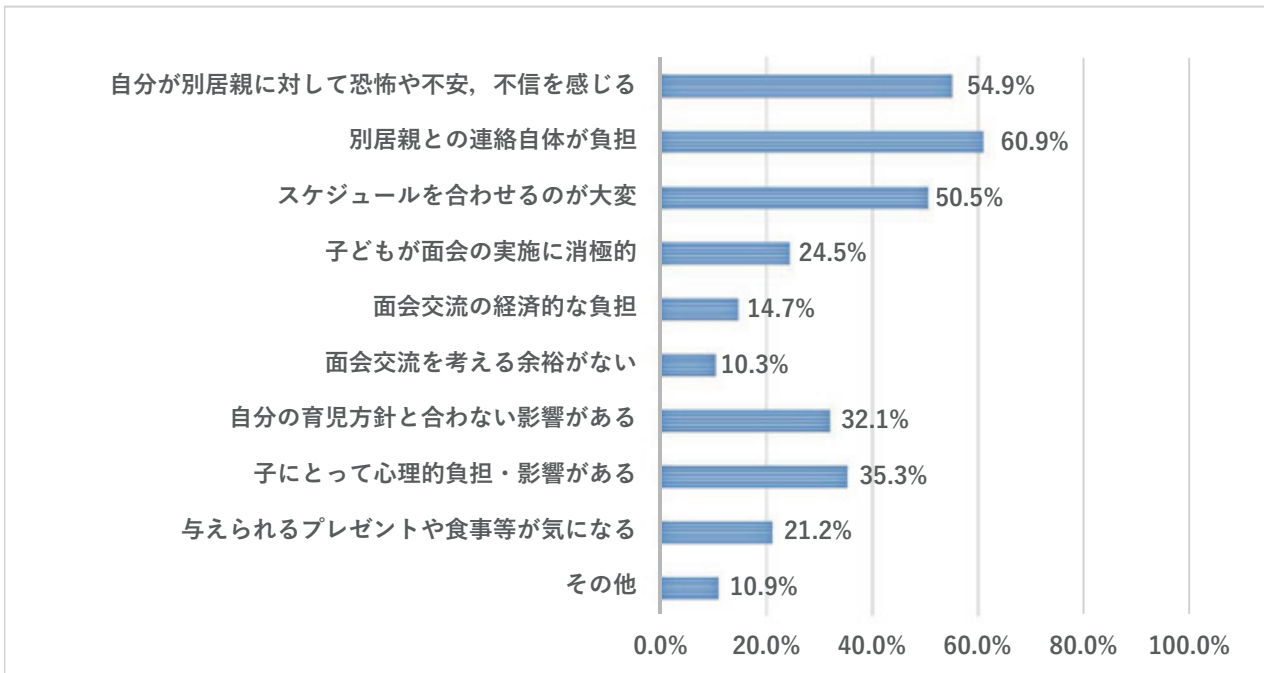
	(実数)	(%)
負担と感じた	184	78.6%
負担と感じてない	50	21.4%
合 計	234	100.0%



【負担と感じた理由】

(負担と感じた)	(実数)	(%)
自分が別居親に対して恐怖や不安、不信を感じる	101	54.9%
別居親との連絡自体が負担	112	60.9%
スケジュールを合わせるのが大変	93	50.5%
子どもが面会の実施に消極的	45	24.5%
面会交流の経済的な負担	27	14.7%
面会交流を考える余裕がない	19	10.3%
自分の育児方針と合わない影響がある	59	32.1%
子にとって心理的負担・影響がある	65	35.3%
与えられるプレゼントや食事等が気になる	39	21.2%
その他	20	10.9%
全 体	184	100.0%





※その他

- 1 仕事のついでに面会を入れる。面会は「経費」として扱われることに抗議し続けている。
- 2 大した養育費も払えないくせにいい顔しているのが腹が立つ。
- 3 子供が私よりパパ大好きなので、不安と悲しみ。
- 4 舅姑、相手に私の悪口を子に吹き込まれる。
- 5 甘やかすだけ甘やかして優しい親の役しかないのでおいしいところ取りだと思ふ。
- 6 自身が精神的負担。
- 7 私の親に立ち会ってもらうのが負担。
- 8 別居親以外の他人に会わせているようでとても不安。
- 9 別居後すぐの時期は不安・不信感を感じましたが数ヶ月で信頼できるようになりました。
- 10 積極的でない相手に子どもと会ってもらうことへの心理的な負担から。
- 11 毎度ストレスを感じ、子どもに当たってしまわないか不安になる。
- 12 養育費の支払いは続いているが、金額が実際に養育にかかる金額より少ないので、面会交流にかかる費用を養育費としていただきたい。
- 13 普段のお世話はこちらだが、たまの面会はイベントのようで、子どもの思い出としてはこちらが印象に残りがちなところ。経済的にも、こちらは贅沢もさせてやれないので。
- 14 元夫に子どもを誘拐されたことがあるので、写真から子どもを特定して、再度誘拐されるのが非常に心配。
- 15 子どもが相手と生活をしたくなるんじゃないか不安になる。

---

16 小さい時は会うととても喜んで複雑な気持ちでした。

---

17 相手の仕事の都合優先になっており、こちらが合わせているので待ち合わせが大変。

---

18 勝手に会ってしまうのでとても負担。

---

19 相手の返信が異常に遅いため、スケジュールを合わせるのが大変です。

---

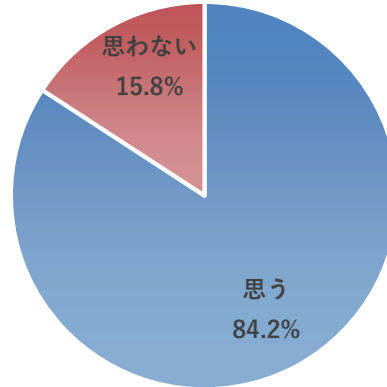
20 DVで別居だったため、私が直接送迎できず、第三者機関を介して行ったが、その業者を選定する手間や費用、それ以上にこれまでの経緯を説明しなければならない事が非常に苦痛だった。

---

Q34 面会交流をしてよかったですか。

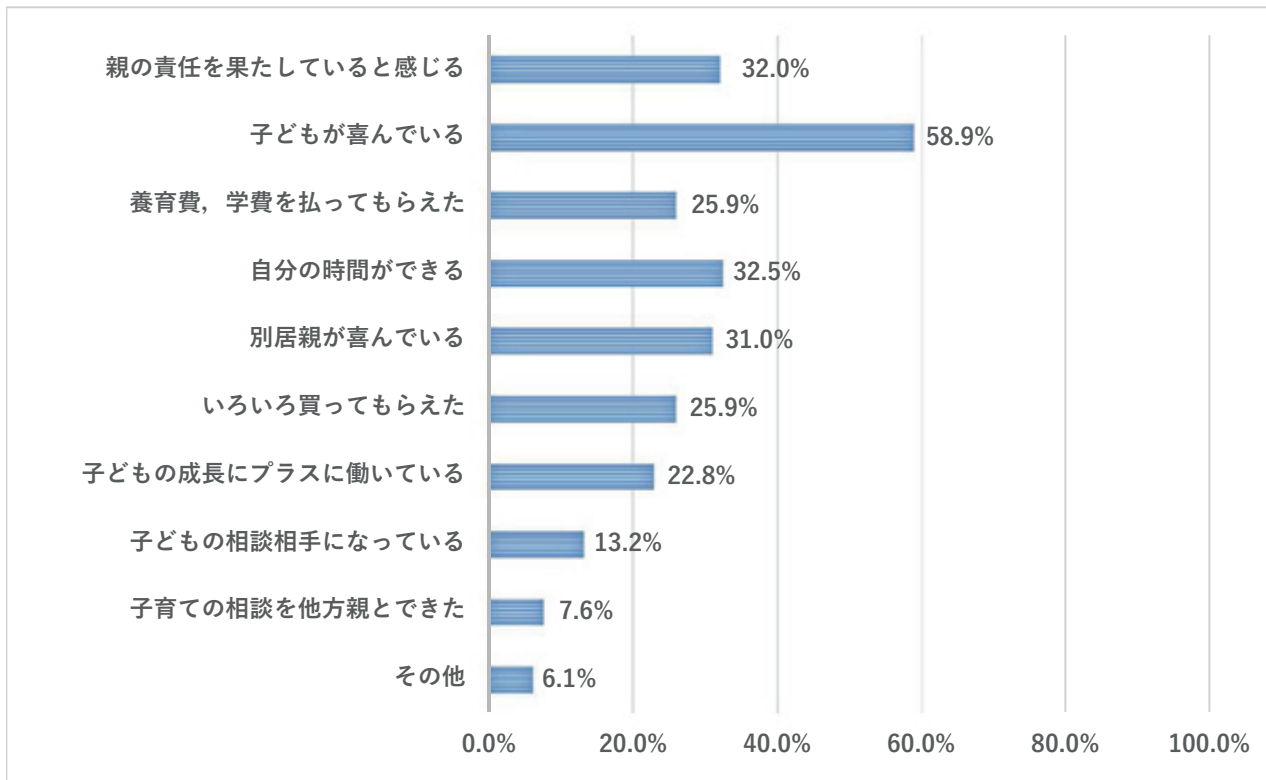
よかったと思う場合の理由を教えてください。（複数回答）

	(実数)	(%)
思う	197	84.2%
思わない	37	15.8%
合 計	234	100.0%



【面会交流をしてよかった理由】

(よかったと思う)	(実数)	(%)
親の責任を果たしていると感じる	63	32.0%
子どもが喜んでいる	116	58.9%
養育費、学費を払ってもらえた	51	25.9%
自分の時間ができる	64	32.5%
別居親が喜んでいる	61	31.0%
いろいろ買ってもらえた	51	25.9%
子どもの成長にプラスに働いている	45	22.8%
子どもの相談相手になっている	26	13.2%
子育ての相談を他方親とできた	15	7.6%
その他	12	6.1%
全 体	197	100.0%

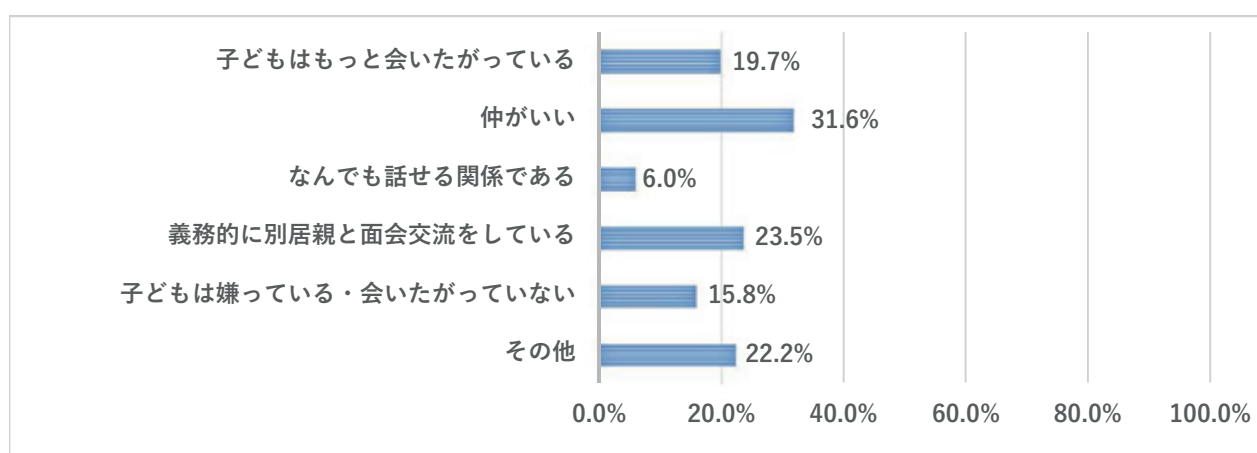


※その他

- 1 友だちと話してる時に、父親がいなく感じず、うちのパパはこうだよと話してる姿をみてよかったと思う。
- 2 誕生日プレゼントをもらった。
- 3 間借させてもらえる。
- 4 子どもが、父親の不在をそれほど寂しがっていないように感じる。
- 5 子どもは一緒に住んでいないけど、自分にもお父さんがいると寂しくないようです。
- 6 別居親の両親である祖父母と子どもがつながっていられた。
- 7 離婚裁判において、親権を主張するのに不利にならないため（親の義務を果たしているとは全く感じていませんでした）。
- 8 続けた成果としてプレゼントがもらった。
- 9 子ども達はお金のなる木としか思っていないよう。普段はパパにLINEしたら？電話したら？と私から背中を押して、やっと下の子だけが動く。

Q35 お子さんと別居親との関係は同居親からみてどう思いますか。（複数回答）

	(実数)	(%)
子どもはもっと会いたがっている	46	19.7%
仲がいい	74	31.6%
なんでも話せる関係である	14	6.0%
義務的に別居親と面会交流をしている	55	23.5%
子どもは嫌っている・会いたがっていない	37	15.8%
その他	52	22.2%
全 体	234	100.0%



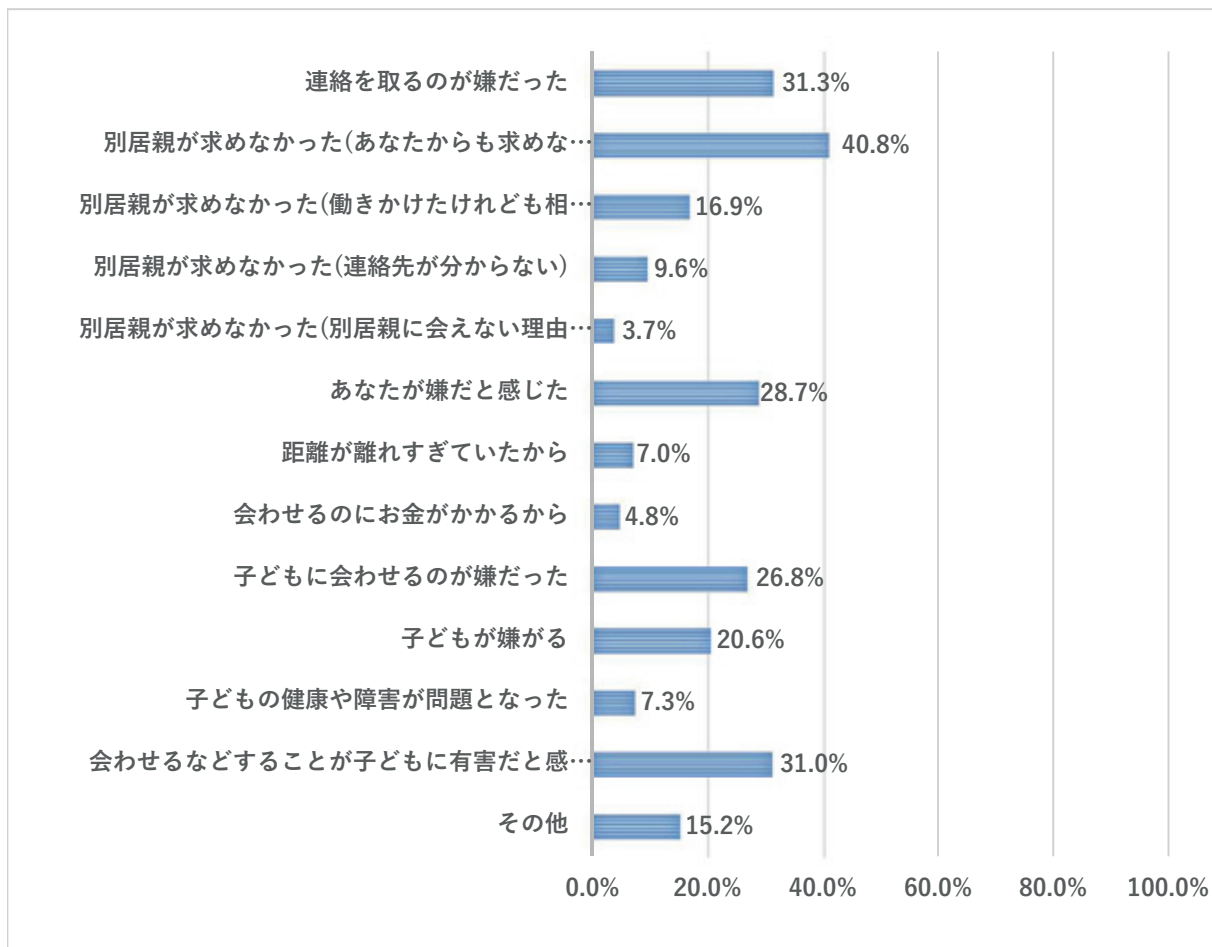
※その他

- 1 子が成長し関係性が変わってきている。
- 2 買いたいものや行きたい所に連れて行ってもらえるとう認識している。
- 3 別居親が、子どもに興味がない。
- 4 再婚してる相手と会いたくない。
- 5 わからない。（6人同回答）
- 6 壁はあるが、私に相談できないことを相談できる相手のよう。
- 7 思春期だから本当の気持ちは話さない。
- 8 今はあまり交流したくない年齢のようです。
- 9 子どもが相手を親と認識していない。
- 10 子どもに興味がない。
- 11 乳幼児期で不明。
- 12 好きなことだけさせてもらえるので、喜んでいる。
- 13 あまり会いたがらないが、会えば仕方なく普通に話す感じ。良好とは言えないが、向こうは気付いていないようです。

- 14 元旦那の祖父母と子どもは交流があって、その時に集まりとかで元旦那が居る感じです。
- 15 別居親の家族と会えること楽しみにしている。
- 16 面会は頻繁ではないが、肉親がいるという安心感にはなっていると思う。
- 17 どこか連れて行ってもらえるのが嬉しいようだ。
- 18 普通。(2人同回答)
- 19 成長と共に会うのを嫌がってきている気がします。
- 20 上の子は会いたがるが、下の子はプレゼントをくれる人くらいにしか思ってなさそう。
- 21 いないのが普通だと思っている。
- 22 仕方なく間借させてもらっている。
- 23 可もなく不可もなくな様子。
- 24 自由な人で楽しい存在。
- 25 子どもは小さいころはよかったが、今は子どもの負担になっている様子。
- 26 プレゼントを買ってもらえる相手。
- 27 その時による。
- 28 ちょうどよいと感じていると思う。
- 29 特に仲が良いわけではないが、学校の長期の休みには遊びがてら泊まりに行きたがることはある。
- 30 当方の再婚後に没交渉になったが、最近再離婚し交流が戻った。優しい父親という存在が子どもには精神的支えになっている。
- 31 お互い気を使ってる。
- 32 生まれてすぐに離婚したので、子どもは父親を知らない。
- 33 小さい時はとても喜んでいたが今はそうでもないように見える。
- 34 外食が出来るので喜んでいる。最近面会の約束は次男とメールで決めてしまっており、少しややこしい。
- 35 親だから嫌いになれないし、なっではいけないと子どもが思っている
- 36 子どもはやや嬉しそうではあるが、積極的に会いたがったりはしない。必ず私が付き添わないといけないので、精神的な負担が大きい。
- 37 子どもが嫌がったり、また会っても良いと言ったり、ばらつきがある。
- 38 成長につれ回数など減った。
- 39 話して良い事と、話せない事を無意識に分けているように思う。
- 40 おこずかい欲しさに会っているのでは、相手に対しての尊敬とかはないので用が済むと帰る。
- 41 おままごと。
- 42 コロナ禍で心配。
- 43 プレゼントが欲しい時だけ会っている。
- 44 特に何とも思っていないようです。会わなければそれでいいし会いたいとは思わない。
- 45 子どもは余り重点を置いていなそうです。

Q36 面会交流をしなかった方、面会交流を中止した方に、その理由をお聞きします。  
 （複数回答）

	(実数)	(%)
連絡を取るのが嫌だった	111	31.3%
別居親が求めなかった(あなたからも求めなかった)	145	40.8%
別居親が求めなかった(働きかけたけれども相手が求めなかった)	60	16.9%
別居親が求めなかった(連絡先が分からない)	34	9.6%
別居親が求めなかった(別居親に会えない理由がある (死亡や病気、再婚など))	13	3.7%
あなたが嫌だと感じた	102	28.7%
距離が離れすぎているから	25	7.0%
合わせるのにお金がかかるから	17	4.8%
子どもに合わせるのが嫌だった	95	26.8%
子どもが嫌がる	73	20.6%
子どもの健康や障害が問題となった	26	7.3%
合わせるなどすることが子どもに有害だと感じたから	110	31.0%
その他	54	15.2%
全 体	355	100.0%



#### ※その他

- 1 連絡時も面会時も何かにつけて嫌がらせをしてくるため。
- 2 元夫は再婚し、遠方に住んでいるため面会をしなくなりました。
- 3 合わせるとDVのため命の危険が強くなるから。
- 4 調停員や弁護士と言いあいをしたらしく、ブチキレて向こうから調停を取り下げてきた。
- 5 子どもは父親の事を覚えていないので、子どもから会いたいと言うまではこちらから言い出していないから。義母には会わせたくないから。
- 6 離婚裁判の中で面会は子の希望した時によると取り決めをしたから。
- 7 相手は 凄く嘘つき+口が達者なので それを信じて 娘が心身共に情緒不安定になる可能性 大なので。
- 8 養育費もなくなった。
- 9 事件になるのではと感じた。
- 10 裁判所の判断で相手方に面接権がないと判断されたから。



- 11 勝手に転居先の住民票を取って私のいない間を狙って息子に家に入れろと言って家に来たので、気持ちが悪くなり、会わせる気を無くした。
- 12 暴力があったため、会わないようにした。
- 13 死去。
- 14 会ってもらう約束をして家を出たが調停中相手が望まず、こちらも気持ちが変わった。
- 15 子どもが望まなかった。
- 16 いい別れ方ではなかったので連絡がとりづらかった。子どもが幼かったし、自分も働き詰めで余裕がなかった。
- 17 相手方の母親とともに、子どもだけをほしがっており、介入されるのが嫌。
- 18 再婚相手が嫌がったため会いにくくなり、その後また離婚したが疎遠になってしまった。
- 19 DV。
- 20 DVで離婚したため恐かった。
- 21 再婚相手が嫌がった。
- 22 裁判で面会交流をお願いしていたが無視されている。
- 23 認知していない。
- 24 離婚原因がDVなので、会うのが怖い。
- 25 私がDVを受けていたから。
- 26 今年の7月頃に相手が必要性を求めなくなったから。
- 27 子どもに離婚理由について話せていない。父親がどんな人か話していない。
- 28 子の障害もあったので、行政と病院の指示。
- 29 養育費払わないから。
- 30 逃げた。蒸発した。連絡先すら知らない。生きてるかも不明。
- 31 養育費を払わない時期があり、その頃から会わせなくなった。
- 32 相手方 所在不明。
- 33 暴力。
- 34 相手が病気になり話にならなかった。
- 35 別居親が養育費を払いたくない、子に会わなくても良いと言ったから。
- 36 最初は会わせてほしいとの話だったが、相手親が忘れろと説得したらしい。
- 37 離婚理由が相手方のDVで怖いから。
- 38 養育費、慰謝料を一切払わないと言ったから。
- 39 中絶を強制され、逃げて産んだから。
- 40 月一回、養育費を持参で面会の約束も、養育費を持参してこなくなったので、面会もさせなくした。
- 41 養育費が払われてないと面会なしという約束なので。
- 42 刑務所に入ってばかりだから。
- 43 会わないこと、養育費をもらわない条件で離婚した。
- 44 子どもが会いたいと言わない。

---

45 養育費も払わず連絡がとれない。

---

46 養育費増額調停を申し立てると、裁判所からの書類が自宅に届かない状態になり、調査官が電話をすると「新しい住所は教えられない」と主張してきた。

---

47 養育費も払わず親としての責任を果たしていないと思うから会う権利はない。

---

48 DVでつきまとわれるのが、怖かった。

---

49 飲酒運転で送ってきた日から会わせていない。

---

50 暴力、子どもに危険が及ぶ可能性があるので。

---

51 暴力や暴言があったため、何をしてくるかわからないので不安。

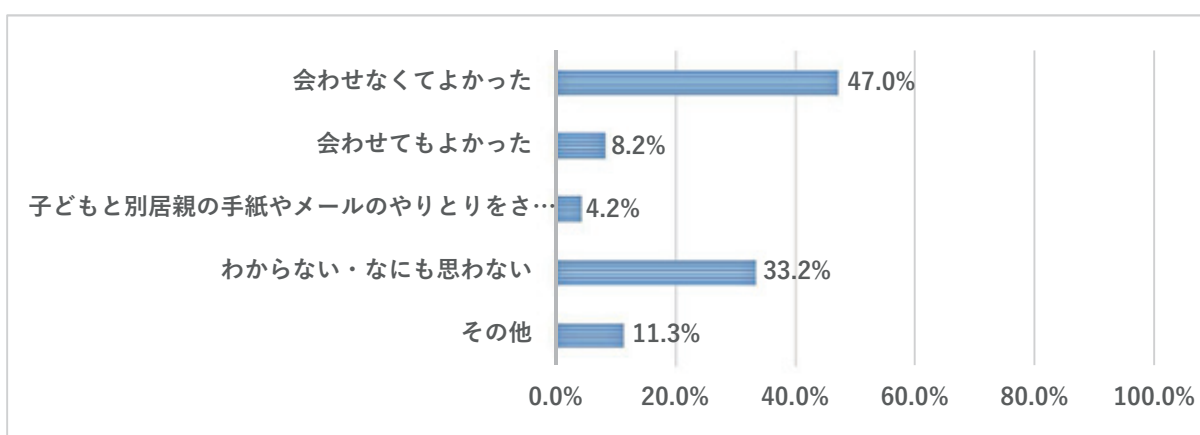
---

52 息子が自閉症で元夫も発達障害。息子の主治医より、父親と会うことが有害と指摘もあったため。

---

Q37 面会交流をしなかった方、面会交流を中止した方について、現在、どのように思いますか。  
（複数回答）

	(実数)	(%)
会わせなくてよかった	167	47.0%
会わせてもよかった	29	8.2%
子どもと別居親の手紙やメールのやりとりをさせればよかった	15	4.2%
わからない・なにも思わない	118	33.2%
その他	40	11.3%
全体	355	100.0%



※その他

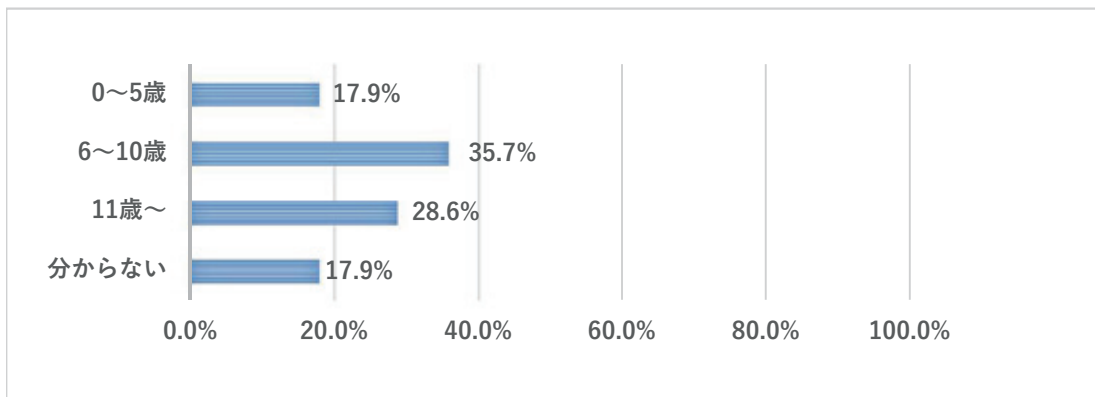
- 1 会って、悪口を吹き込まれていたのが、子どもが情緒不安定になっていたが、面会しなくなったら、落ち着いたし、同居親に反抗しなくなった。
- 2 子どもが父親に会いたいと言ったら会っても良い。
- 3 アルコール依存症、交通事故など社会的に問題行動の多い人間のため面会したとしてもまともな交流はできないと思う。例えば外食はラーメン、ハンバーグ、箸を使うところ以外は嫌だとか、外食は好きなもの以外食べたくないなど、子ども以上にわがままを言うため。
- 4 会わせたくはないが、子どもの事を忘れないでほしい。養育費の減額をしないでほしい。
- 5 今でも会ってほしいが、難しいようです。
- 6 子どもはまだ小さいため会いたいがるが、相手はすぐに再婚したため全く連絡をしてこない。
- 7 こちらが連絡しようとしても向こうが無視する。
- 8 相手が行方不明。
- 9 子どもが必要とされず傷付いていて、仲がこじれてしまっており、かわいそうに思う。
- 10 子どもは会いたいと言っているのに別居親が連絡を無視するので憤っている。
- 11 いろんなケースがあるので、面会交流をただする傾向はやめてほしい。

- 12 子どもが求める時には対応して欲しいと思った。
- 13 子どもが2、3才の時に2回ほどあったことがあるが。
- 14 会わせたくないから会わせなかったが、子どものためにその気持ちが本当かはわからない。
- 15 特に希望されないの。養育費も払ってくれなくなっているの。
- 16 そもそも家族に興味のない人なので、純粋な今の年齢の子どもにはショックが大きいのかなと思。交流がないことが私の精神安定に繋り良かったと思っている。しかし、子どもたちが大きくなり、出生を知りたくなったら、色々ショックが大きいのではと今から不安に思っている。だからその時に子ども自身が自分を否定しないよう、今私が出来ることは、子どもに精一杯の愛情を注ぎ味方であることを日々伝えること。
- 17 会わせればよかったと後悔している。
- 18 離婚してしばらくたって裁判を起こされた。
- 19 今後子どもが求めれば探す。
- 20 手紙を書かせても無駄だったと思う。電話を掛けてこない別居親に手紙を書いたところで意味はなかったと思う。
- 21 暴力などでない限り会わせるべきだと思うし会ってほしかった。子どももそれを、望んでいた。
- 22 自分の都合や気分で連絡してくる時と、着信拒否にされることがある。会うのか会わないのかどちらか決まればよかったが。
- 23 父親が同じ駅に通勤してくるため面会を持たなくとも出くわすという形で間接的に子どもは父親を何度も見かけたり、出くわしている状況にある。
- 24 したかったが、別居親が色々な理由をつけ、会いたがらなかったの、かなり残念で、子ども達が不憫。
- 25 第三者を挟んでおきたかった。
- 26 正解がわからない。
- 27 会った方が良かったと思う。
- 28 子どもも会いたくないと言っている。
- 29 相手さえ、求めてくれたら、会わせられた。
- 30 子どもが可哀想。
- 31 子どもの気持ちを考えると会いたいのかなと思う。
- 32 定期的に会って欲しかった。
- 33 双方が望むなら自分の同席のもとなら会っても良い。
- 34 できるなら会わせたい。
- 35 子どもは会いたがっている。
- 36 当時は会わせなくてよかった。
- 37 自分の身が守れるように成長したら息子の気持ちを尊重したい。
- 38 別居親の実子に対する態度(会いたいと思わない)に驚いている。

【子ども経験者の調査結果】

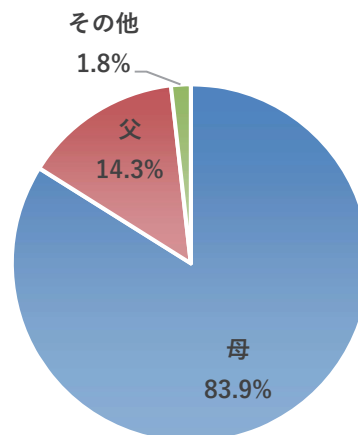
Q39 親が別離した時のあなたは何歳でしたか。（単一回答）

	(実数)	(%)
0～5歳	10	17.9%
6～10歳	20	35.7%
11歳～	16	28.6%
分からない	10	17.9%
合計	56	100.0%



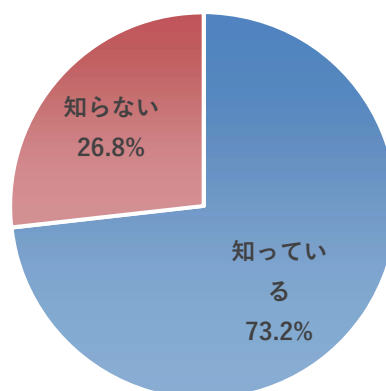
Q40 親が別離して一緒に暮らした親（保護者）を教えてください。（単一回答）

	(実数)	(%)
母	47	83.9%
父	8	14.3%
その他	1	1.8%
合計	56	100.0%



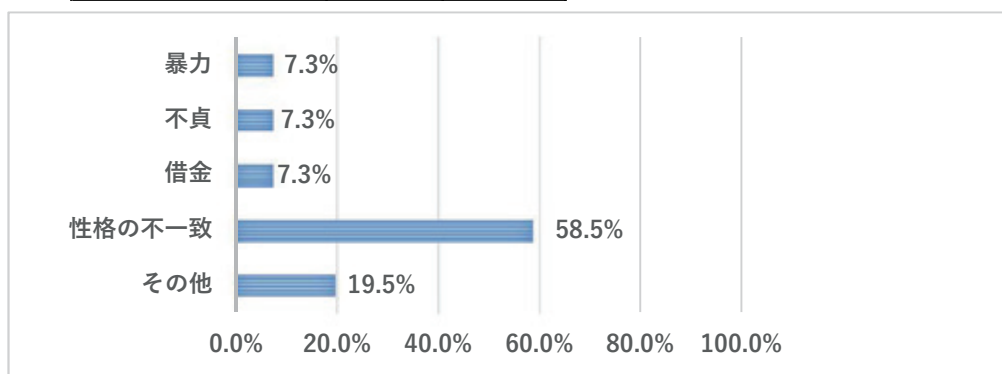
Q41 親の離婚の主な原因を知っていますか。(単一回答)

	(実数)	(%)
知っている	41	73.2%
知らない	15	26.8%
合計	56	100.0%



【知っている原因】

(知っている)	(実数)	(%)
暴力	3	7.3%
不貞	3	7.3%
借金	3	7.3%
性格の不一致	24	58.5%
その他	8	19.5%
合計	41	100.0%

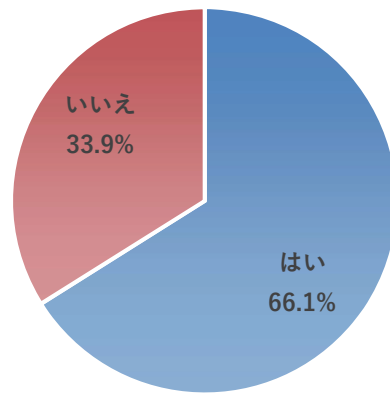


※その他

- 1 父方の親との不仲。
- 2 姿を消した。
- 3 ギャンブル。
- 4 わたしの出生時より母が患ってきた精神障害(双極性障害・型、障害者手帳受給済)のため、母が育児を行うことができなかったため。
- 5 父が他の女と結婚するため(不貞行為をはたらいていたかまではわからない)。
- 6 すれ違い。
- 7 父の仕事関係。社長に騙されて大変になったそうです。

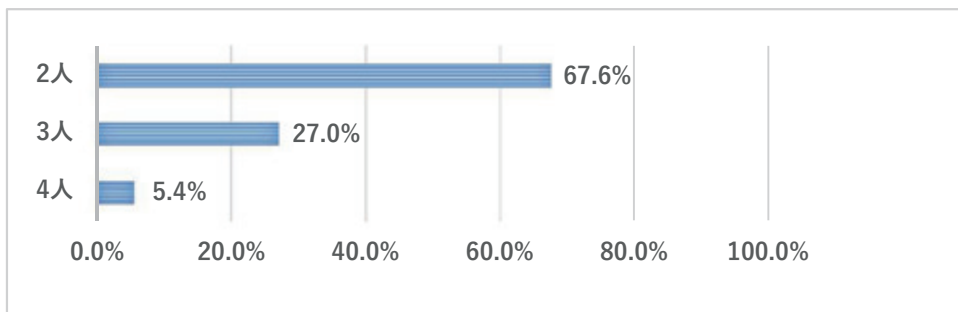
Q42 きょうだいはいますか。いる方は、あなたを含めた人数もあわせて教えてください。  
 (単一回答)

	(実数)	(%)
はい	37	66.1%
いいえ	19	33.9%
合計	56	100.0%



【きょうだいの人数】

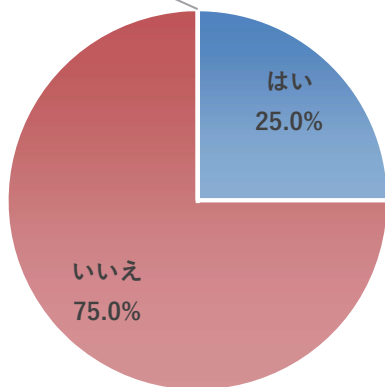
(はい)	(実数)	(%)
2人	25	67.6%
3人	10	27.0%
4人	2	5.4%
合計	37	100.0%



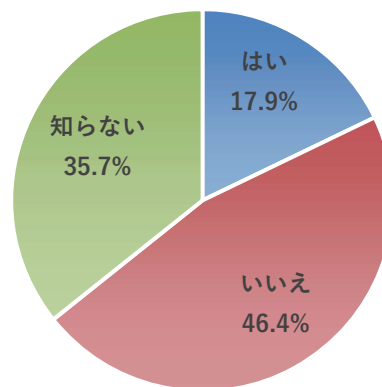
Q43 親はその後に再婚していますか。(マトリクス・単一回答)

	(実数) (%)		(実数) (%)	
	同居親		別居親	
はい	14	25.0%	10	17.9%
いいえ	42	75.0%	26	46.4%
知らない	0	0.0%	20	35.7%
合計	56	100.0%	56	100.0%

知らない 0.0% 【同居親】

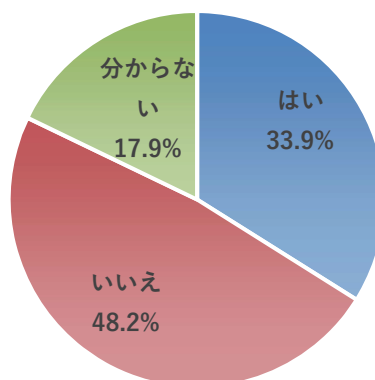


【別居親】



Q44 別居親は、養育費や学費を支払っていますか。(単一回答)

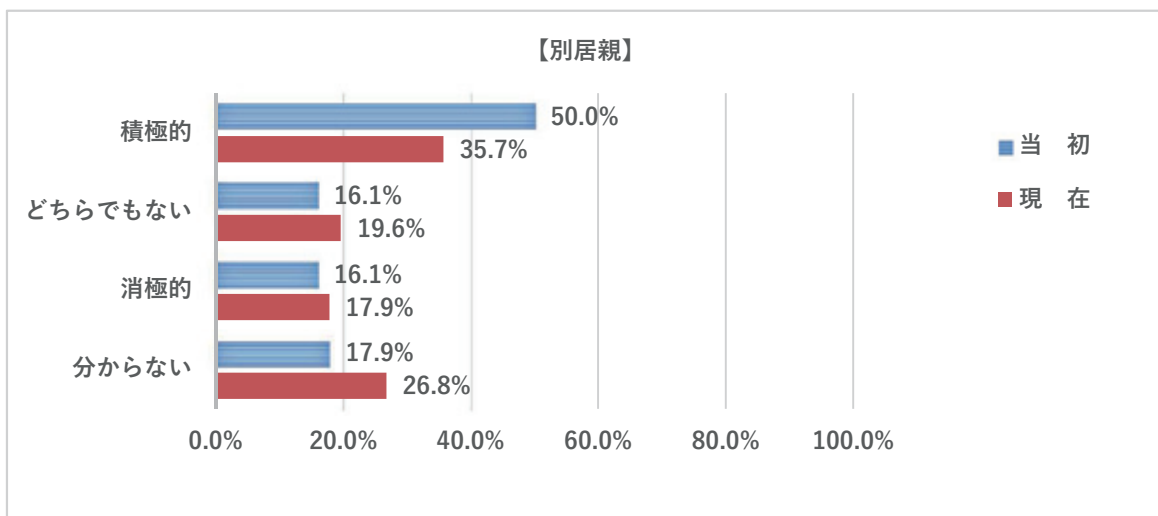
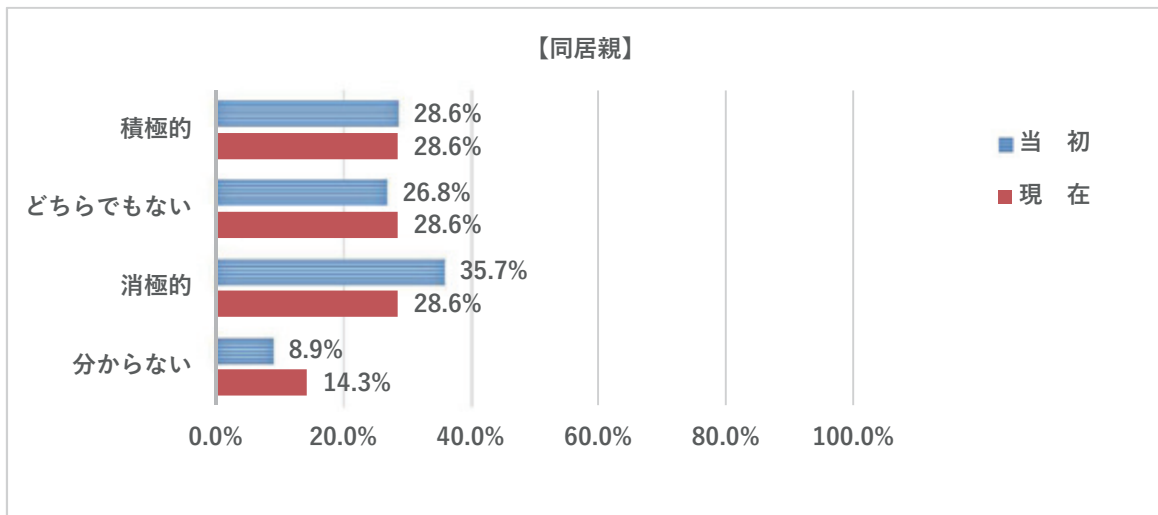
	(実数)	(%)
はい	19	33.9%
いいえ	27	48.2%
分からない	10	17.9%
合計	56	100.0%





Q45 同居親は、別居親とあなたが面会交流すること（会ったり手紙のやりとりをすること）に積極的でしたか。別居親は、面会交流をすることに積極的でしたか。  
（マトリクス・単一回答）

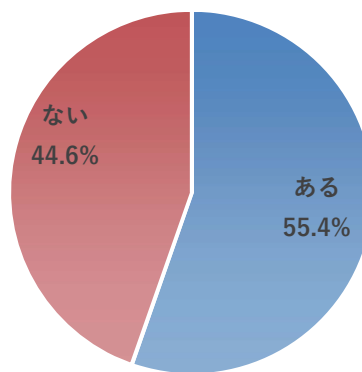
	(実数)		(%)		(実数)		(%)	
	同居親				別居親			
	当 初	現 在	当 初	現 在	当 初	現 在	当 初	現 在
積極的	16	28.6%	16	28.6%	28	50.0%	20	35.7%
どちらでもない	15	26.8%	16	28.6%	9	16.1%	11	19.6%
消極的	20	35.7%	16	28.6%	9	16.1%	10	17.9%
分からない	5	8.9%	8	14.3%	10	17.9%	15	26.8%
合 計	56	100.0%	56	100.0%	56	100.0%	56	100.0%



Q46 あなたが15才になるまでの間に、別居親との面会交流はありますか。（単一回答）

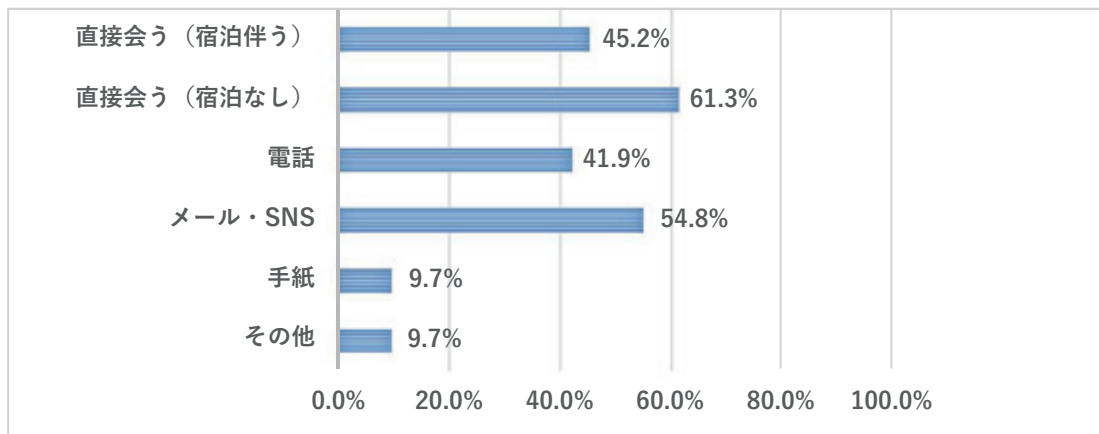
※面会交流があるとは、年に1回以上、会ったり手紙のやりとりがあることをいいます。  
15才以上になってからや、数年に一度、面会交流がある場合には、「ない」を選択して下さい。

	(実数)	(%)
ある	31	55.4%
ない	25	44.6%
合 計	56	100.0%



Q47 前問で15才になるまでの間に面会交流があると回答した方にお聞きします。  
 内容もお答えください。（複数回答）

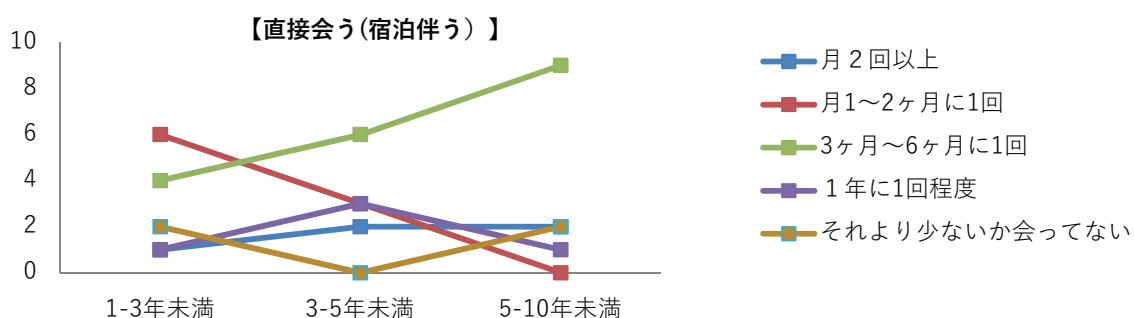
	(実数)	(%)
直接会う（宿泊伴う）	14	45.2%
直接会う（宿泊なし）	19	61.3%
電話	13	41.9%
メール・SNS	17	54.8%
手紙	3	9.7%
その他	3	9.7%
全 体	31	100.0%



Q48 あなたが15才になるまでの間の別居親との面会交流の頻度とその変化についてお聞かせ下さい。  
(マトリクス・単一回答)

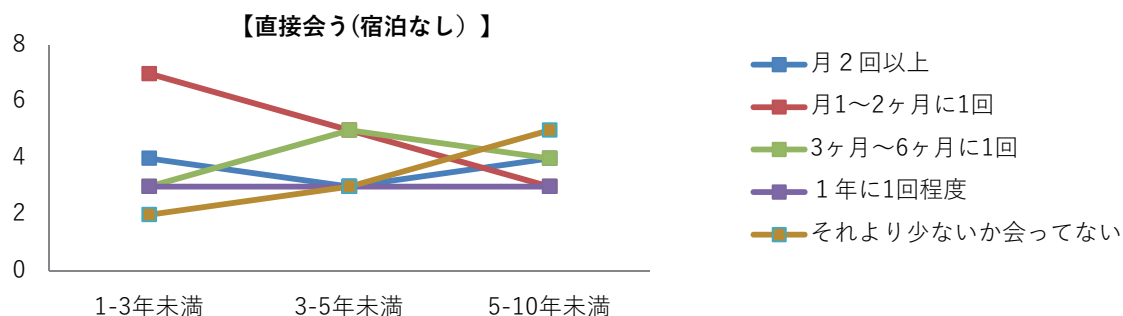
→ 直接会う (宿泊伴う)

頻 度	(実数) (%)		(実数) (%)		(実数) (%)	
	1-3年未満		3-5年未満		5-10年未満	
月2回以上	1	7.1%	2	14.3%	2	14.3%
月1~2ヶ月に1回	6	42.9%	3	21.4%	0	0.0%
3ヶ月~6ヶ月に1回	4	28.6%	6	42.9%	9	64.3%
1年に1回程度	1	7.1%	3	21.4%	1	7.1%
それより少ないか会ってない	2	14.3%	0	0.0%	2	14.3%
合 計	14	100.0%	14	100.0%	14	100.0%



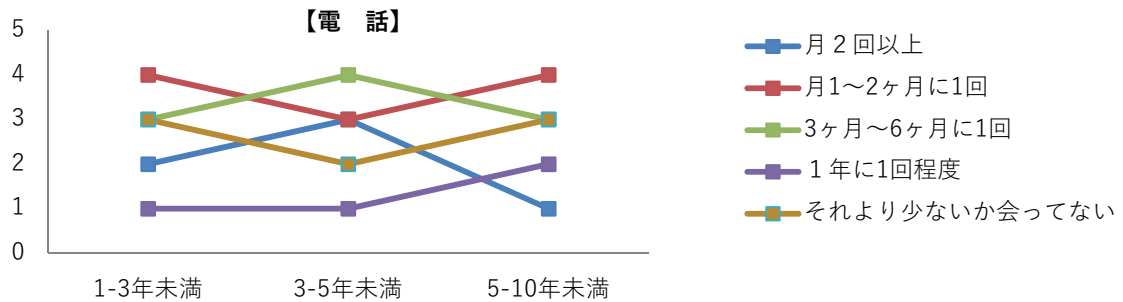
→ 直接会う (宿泊なし)

頻 度	(実数) (%)		(実数) (%)		(実数) (%)	
	1-3年未満		3-5年未満		5-10年未満	
月2回以上	4	21.1%	3	15.8%	4	21.1%
月1~2ヶ月に1回	7	36.8%	5	26.3%	3	15.8%
3ヶ月~6ヶ月に1回	3	15.8%	5	26.3%	4	21.1%
1年に1回程度	3	15.8%	3	15.8%	3	15.8%
それより少ないか会ってない	2	10.5%	3	15.8%	5	26.3%
合 計	19	100.0%	19	100.0%	19	100.0%



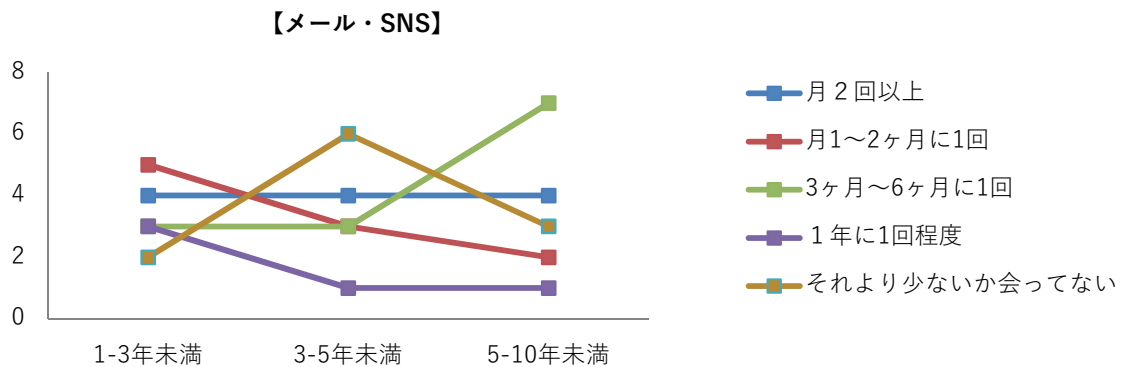
→ 電 話

頻 度	1-3年未満		3-5年未満		5-10年未満	
	(実数)	(%)	(実数)	(%)	(実数)	(%)
月2回以上	2	15.4%	3	23.1%	1	7.7%
月1～2ヶ月に1回	4	30.8%	3	23.1%	4	30.8%
3ヶ月～6ヶ月に1回	3	23.1%	4	30.8%	3	23.1%
1年に1回程度	1	7.7%	1	7.7%	2	15.4%
それより少ないか会ってない	3	23.1%	2	15.4%	3	23.1%
合 計	13	100.0%	13	100.0%	13	100.0%



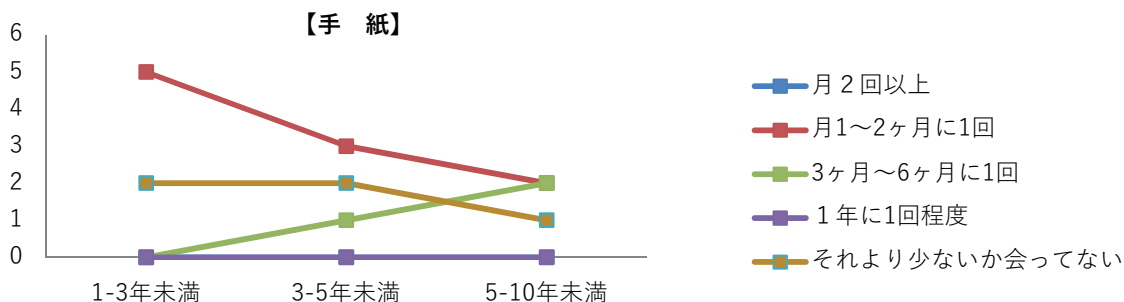
→ メール・SNS

頻 度	1-3年未満		3-5年未満		5-10年未満	
	(実数)	(%)	(実数)	(%)	(実数)	(%)
月2回以上	4	23.5%	4	23.5%	4	23.5%
月1～2ヶ月に1回	5	29.4%	3	17.6%	2	11.8%
3ヶ月～6ヶ月に1回	3	17.6%	3	17.6%	7	41.2%
1年に1回程度	3	17.6%	1	5.9%	1	5.9%
それより少ないか会ってない	2	11.8%	6	35.3%	3	17.6%
合 計	17	100.0%	17	100.0%	17	100.0%



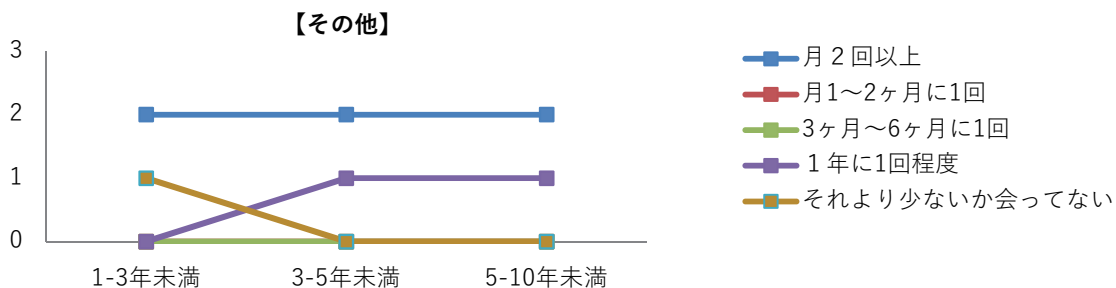
→ 手紙

頻度	(実数) (%)		(実数) (%)		(実数) (%)	
	1-3年未満		3-5年未満		5-10年未満	
月2回以上	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
月1~2ヶ月に1回	1	33.3%	0	0.0%	0	0.0%
3ヶ月~6ヶ月に1回	0	0.0%	1	33.3%	2	66.7%
1年に1回程度	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
それより少ないか会ってない	2	66.7%	2	66.7%	1	33.3%
合計	3	100.0%	3	100.0%	3	100.0%



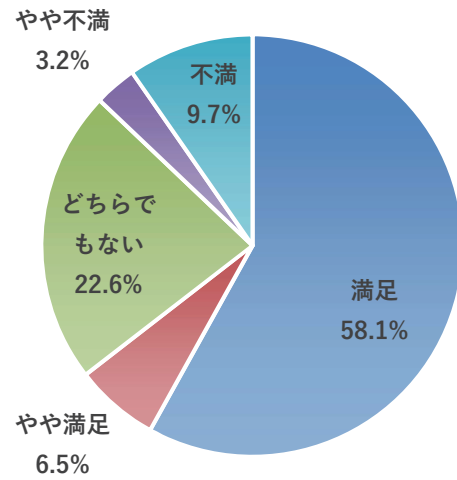
→ その他

頻度	(実数) (%)		(実数) (%)		(実数) (%)	
	1-3年未満		3-5年未満		5-10年未満	
月2回以上	2	66.7%	2	66.7%	2	66.7%
月1~2ヶ月に1回	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
3ヶ月~6ヶ月に1回	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
1年に1回程度	0	0.0%	1	33.3%	1	33.3%
それより少ないか会ってない	1	33.3%	0	0.0%	0	0.0%
合計	3	100.0%	3	100.0%	3	100.0%



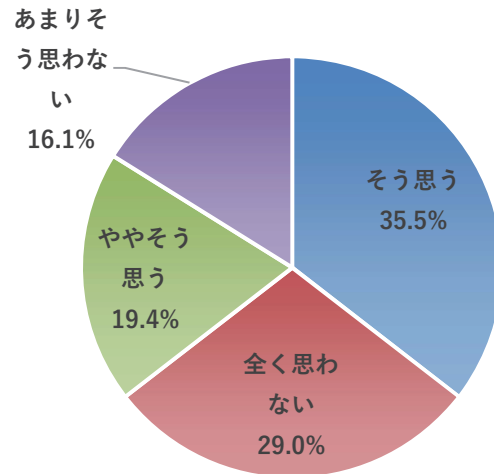
Q49 別居親との面会交流の状況に満足していますか。（単一回答）

	(実数)	(%)
満足	18	58.1%
やや満足	2	6.5%
どちらでもない	7	22.6%
やや不満	1	3.2%
不満	3	9.7%
合計	31	100.0%



Q50 別居親と良い関係だと思えますか。（単一回答）

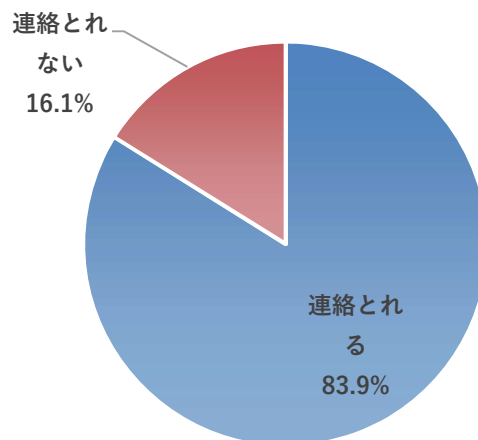
	(実数)	(%)
そう思う	11	35.5%
全く思わない	9	29.0%
ややそう思う	6	19.4%
あまりそう思わない	5	16.1%
合計	31	100.0%



Q51 自分で別居親に連絡をとれますか。

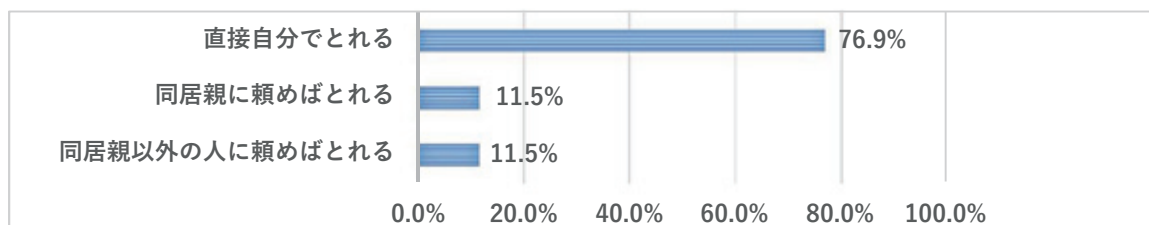
連絡をとれる方は、その方法もお知らせください。（単一回答）

	(実数)	(%)
連絡とれる	26	83.9%
連絡とれない	5	16.1%
合計	31	100.0%



#### 【連絡方法】

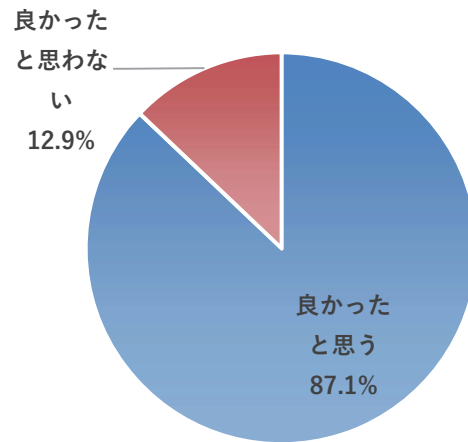
(連絡とれる)	(実数)	(%)
直接自分でとれる	20	76.9%
同居親に頼めばとれる	3	11.5%
同居親以外の人に頼めばとれる	3	11.5%
合計	26	100.0%





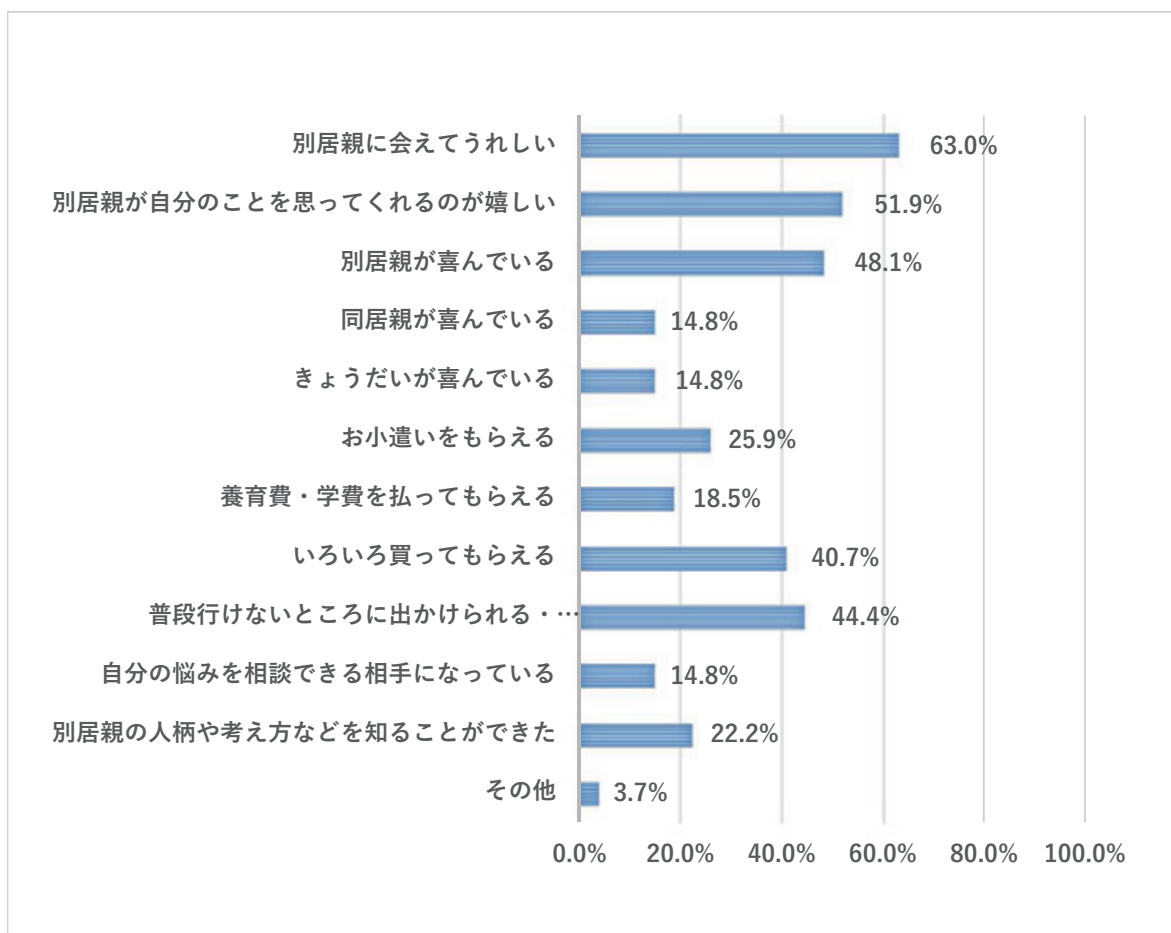
Q52 別居親と面会交流をして良かったと思いますか。（単一回答）  
その理由を教えてください。（複数選択可）

	(実数)	(%)
良かったと思う	27	87.1%
良かったと思わない	4	12.9%
合計	31	100.0%



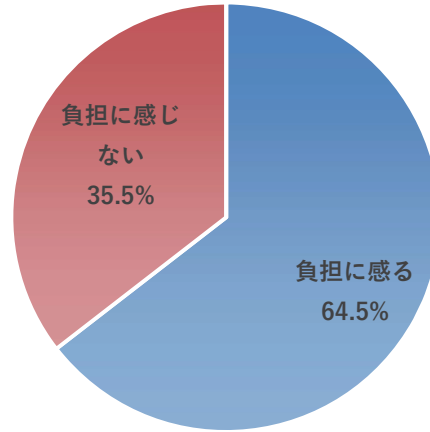
【良かったと思う理由】

(良かったと思う)	(実数)	(%)
別居親に会えてうれしい	17	63.0%
別居親が自分のことを思ってくれるのが嬉しい	14	51.9%
別居親が喜んでいる	13	48.1%
同居親が喜んでいる	4	14.8%
きょうだいも喜んでいる	4	14.8%
お小遣いをもらえる	7	25.9%
養育費・学費を払ってもらえる	5	18.5%
いろいろ買ってもらえる	11	40.7%
普段行けないところに出かけられる・ 美味しいものを食べさせてもらえる	12	44.4%
自分の悩みを相談できる相手になっている	4	14.8%
別居親の人柄や考え方などを知ることができた	6	22.2%
その他	1	3.7%
全体	27	100.0%



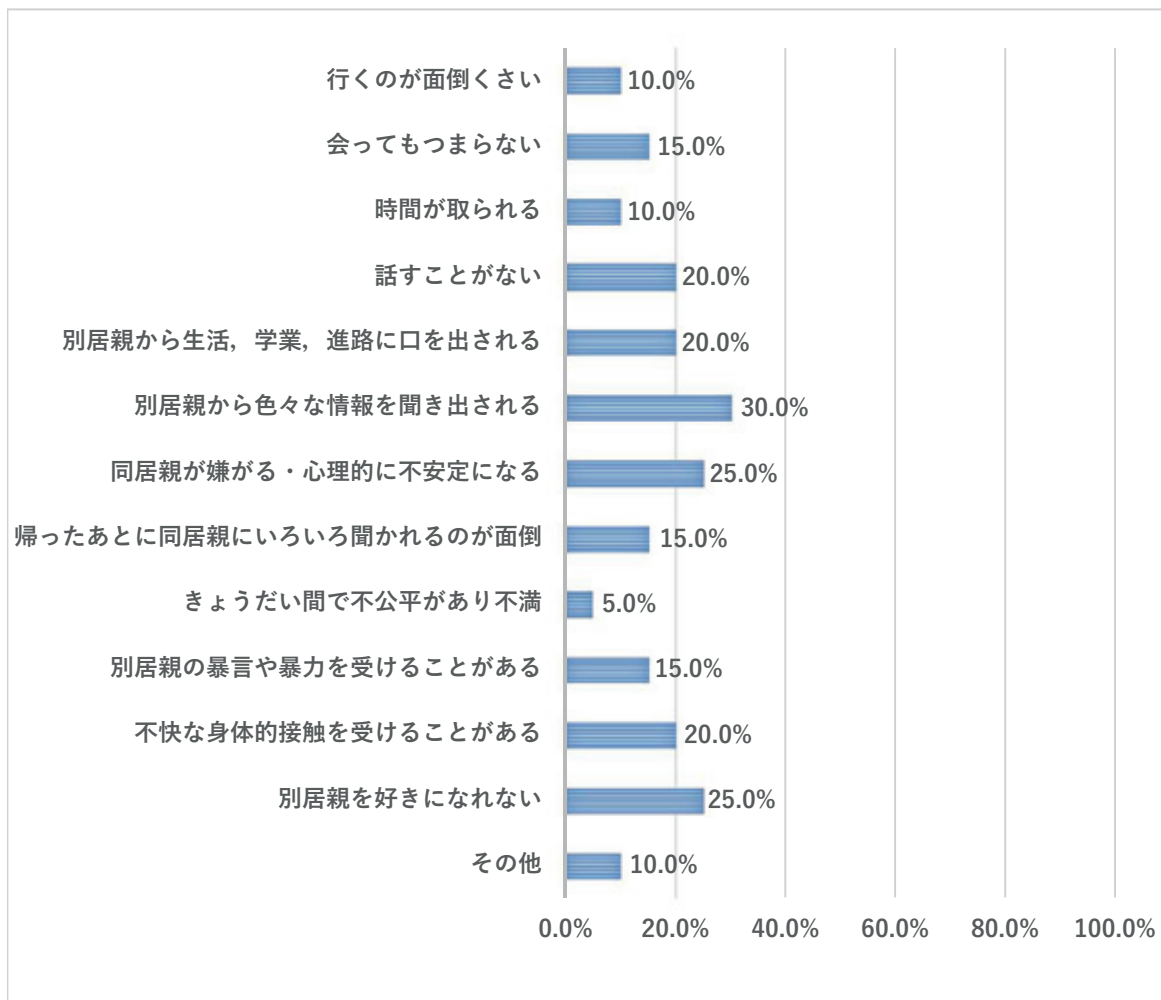
Q53 別居親との面会交流が負担に感じることはありますか。  
その理由を教えてください。（複数選択可）

	(実数)	(%)
負担に感じる	20	64.5%
負担に感じない	11	35.5%
合計	31	100.0%



【負担に感じる理由】

(負担に感じる)	(実数)	(%)
行くのが面倒くさい	2	10.0%
会ってもつまらない	3	15.0%
時間が取られる	2	10.0%
話すことがない	4	20.0%
別居親から生活、学業、進路に口を出される	4	20.0%
別居親から色々な情報を聞き出される	6	30.0%
同居親が嫌がる・心理的に不安定になる	5	25.0%
帰ったあとに同居親にいろいろ聞かれるのが面倒	3	15.0%
きょうだい間で不公平があり不満	1	5.0%
別居親の暴言や暴力を受けることがある	3	15.0%
不快な身体的接触を受けることがある	4	20.0%
別居親を好きになれない	5	25.0%
その他	2	10.0%
全体	20	100.0%



Q54 別居親と交流をしていないことについて、子どもの頃にどう感じていましたか。  
（複数選択可）

	(実数)	(%)
会いたいと思った	5	20.0%
許せないから会いたくなかった	2	8.0%
連絡をとってみたいと思った	4	16.0%
交流をしないでいいと思った	3	12.0%
実際に連絡を取ろうとした	0	0.0%
こっそりと見に行ってみた	1	4.0%
同居している親に悪いと思って聞けなかった	4	16.0%
なにも思わなかった	11	44.0%
その他	3	12.0%
全 体	25	100.0%

※その他

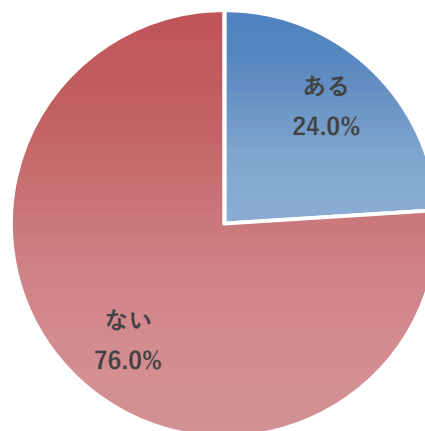
1 父親は元々いないものであると思っていた。

2 生まれてから顔を見たことがないのでどうでもよい。

3 障害のことを知らなかったため、母は私のことを嫌っているんだと思った。そのため、会うのが怖いと感じていた。また、母は母で、障害のせいで育児を行うことができなかったことに対して、自責感を抱えており、連絡はしてこなかった。

Q55 15才までに別居親と会ったり手紙のやりとりなどがありましたか。  
 なかった場合でも、その後に交流がありましたか。（複数回答）

	(実数)	(%)
ある	6	24.0%
ない	19	76.0%
合 計	25	100.0%



【その後に交流があった内容】

(ある)	(実数)	(%)
自分から連絡を取った	3	50.0%
別居親から連絡があった	4	66.7%
その他	0	0.0%
全 体	6	100.0%

【面会交流実態調査研究会：研究の役割分担】

①研究代表者の役割

高田恭子（研究班の統括、調査の企画、調査会社との折衝、Web 調査の分析、ヒアリング調査データの分析、成果のまとめ）

②共同研究者の役割

藤間 公太（調査の企画、Web 調査データの分析、ヒアリング調査データの分析）

山崎 新（調査の企画、Web 調査データの分析、ヒアリング調査データの分析）

松村 歌子（調査の企画、Web 調査データの分析、ヒアリング調査データの分析）

折井 純（研究会での議論への参加）

笹 泰子（研究会での議論への参加）

川見 未華（研究会での議論への参加）

馬場 望（研究会での議論への参加）

玄場 和子（研究会での議論への参加）

嘉本伊都子（研究会での議論への参加）

③研究協力者の役割

梅澤 彩（調査データ分析への助言）

神原 文子（調査データ分析への助言）

**謝辞** 本報告書は、科研 19K01412 「多様な家族と面会交流制度のあり方—社会調査に基づき考察する子どもの権利—」（研究代表者：高田恭子 および科研 19H01432 「親の別居・離婚における子の権利保障システムの構築」（研究代表者：二宮周平）の研究成果の一部である。

